

平成27年度
(平成26年度実施事務事業)

教育に関する事務の管理及び執行の状況の 点検及び評価報告書



(平成26年度 社会を明るくする運動推進大会・天草市教育力活性化推進大会)

平成27年8月

天草市教育委員会

はじめに

平成19年6月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律が一部改正され、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たしていくため、教育委員会は、毎年、教育行政事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが規定されました。

この報告書は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条の規定に基づき、平成26年度に実施した教育委員会の事務事業について点検及び評価を行い、教育に関する学識経験者の意見を付して報告するものです。

<参考>

地方教育行政の組織及び運営に関する法律(抜粋)

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

目 次

I 点検及び評価に関する要領	1P
1 趣 旨	
2 点検評価の対象範囲	
3 点検評価の方法	
4 点検評価員の委嘱	
5 点検評価の手順	
6 点検評価調書の作成	
II 教育委員会の活動状況について	4P
1 教育委員会会議	
2 教育委員の主な活動	
3 附属機関の状況	
4 教育委員会の情報発信	
III 点検評価の結果	6P
① 家庭を基盤とし、子どもたちの基本的な生活習慣や態度を養い、それぞれの個性と能力を十分発揮し、互いを認め合い、心豊かに生きる子どもの育成	
② 生きる力の基盤となる「確かな学力」を育み、子どもたちの創造性を培い、自主及び自律の精神を養い、郷土「日本の宝島天草」を愛し国際社会に生きる心身ともに健康な日本人の育成	
③ 市民一人一人が生涯を通じていつでも自由に学び、文化・スポーツに親しむことを通じて生きがいを持ち、学習や活動の成果を社会に生かすことができる生涯学習社会の形成	
④ 学校・家庭・地域社会がそれぞれの責任を果たし、連携を図ることができる、地域社会の特性を踏まえた教育行政の推進	
IV 外部点検評価	16P
1 点検評価員	
2 会 議	
3 点検評価員の主な意見	
○ 平成27年度 点検評価事業一覧	22P
○ 点検評価調書	24P

I 点検及び評価に関する要領

1 趣旨

この報告書は、天草市教育委員会の権限に属する事務の平成26年度の管理及び執行の状況について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地教行法」という。）第27条第1項の規定に基づき、点検及び評価を行う。

2 点検評価の対象範囲

点検評価の対象は、地教行法第23条で「教育委員会の職務権限」として規定されている事務のうち、「第1次天草市総合計画」や「天草市教育目標」を達成するための「基本方針」「努力目標」及び「事務事業」とする。

3 点検評価の方法

(1) 内部評価

○「基本方針」、「努力目標」については、事務事業の評価結果や教育環境の変化等から今後の「方向性」を判断する。

○「事務事業」については、その「必要性」、「有効性」等の観点から評価を行い、今後の「方向性」を判断する。

(2) 外部評価

学識経験を有する方から、「基本方針」、「努力目標」及び「事務事業」について意見を聴取する。

4 点検評価員の委嘱

(1)点検評価員の法的根拠 地教行法第27条第2項

(2)点検評価員の数 2人

(3)資格 教育に関し学識経験を有する方で、性別・年齢は問わない。

(4)任期 2年(再任を妨げない)

(5)報酬等 報酬・費用弁償については、天草市非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の規定による。

5 点検評価の手順

点検評価は、次の順により行う。

①内部評価

事務局各課がその所管する事務事業等について、評価を行う。

②外部評価

上記①の内部評価の結果をもとに、点検評価員の意見を聴取する。

③最終評価

上記①及び②の外部評価の結果を踏まえ、教育委員会が最終的な評価を行う。

④議会への報告

教育委員会は、「点検及び評価報告書」を市議会に提出する。

⑤公表

教育委員会は、「点検及び評価報告書」を教育委員会ホームページに掲載し市民に公表する。

6 点検評価調書の作成

(1) 「事業名」欄

平成26年度に実施した事務事業名を記載する。

(2) 「第1次総合計画施策体系区分」欄

事務事業の上位施策となる第1次総合計画前期基本計画における施策を記載する。

(3) 「教育目標」欄及び「基本方針」欄

「天草市教育目標」及びそれを達成するための「基本方針」を記載する。

(4) 「目的」欄

事務事業を実施する目的を記載する。

(5) 「内容」欄

事務事業の内容を記載する。

(6) 「全体計画、概要」欄

平成26年度の「決算額」、評価の「指標名」及びその指標の「目標値」・「実績値」を記載する。

(7) 「評価」欄

① 評価項目

評価は、次の項目について行う。

○「上位の施策(目標)への貢献」欄

市が各種の施策を推進する上で基本となる「第1次総合計画」や、教育行政の柱である「教育目標」等の上位計画の達成にどの程度貢献できたか、という観点から評価を行う。

○「市関与の必要性」欄

市が関与する必要性はどの程度か、という観点から評価を行う。

○「達成状況」欄

計画した内容や目標がどの程度達成されたか、という観点から評価を行う。なお、目標値を設定することが困難な事業については、事業(サービス)の充実度に応じた評価を行う。

② 評点

評価は、次の評点により行う。

○「上位の施策(目標)への貢献」欄

4:大いに貢献できた 3:貢献できた 2:少し貢献できなかった 1:ほとんど貢献できなかった

○「市関与の必要性」欄

4:関与の必要性が高い 3:関与の必要性がやや高い 2:関与の必要性はやや

低い 1:関与の必要性は低い

○「達成状況」欄

4:達成できた 3:だいたい達成できた 2:あまり達成できなかった 1:達成できなかった

(8) 総合評価

上記(7)の評価を踏まえ、総合的な評価を行い、今後の課題等を記載する。

(9) 方向性

上記(8)の総合評価を踏まえ、事務事業の今後の取組みの方向性について、次により記載する。

- 廃止:平成26年度で事務事業を廃止する
- 終了:設定した終期の到来又は事業目的の達成により事務事業を終了する
- 縮小:事業内容、事業量等を縮小して事務事業を継続する
- 見直して継続:他の事務事業との統合や内容を見直して継続する、又は新たに終期を設定して継続する
- 継続:現行の内容で事務事業を継続する
- 拡充:事業内容、事業量等を現行よりも拡充して事務事業を継続する

II 教育委員会の活動状況について

1 教育委員会会議

(1) 教育委員

平成26年度の教育委員は、次のとおりです。

役職名	氏名	摘要	任期満了年月日
委員長	花里 昌直	平成26年7月1日委員長選任	平成27年6月30日
委員長職務代理者	黒鶴 進治	平成26年7月1日委員長職務代理者指定	平成29年6月30日
委員	松本 由香里	平成24年10月1日新任	平成28年6月30日
委員	行合 八恵子	平成25年1月1日新任	平成28年6月30日
委員	木下 えり子	平成26年7月1日新任	平成30年6月30日
教育長	石井 二三男	平成26年7月1日就任	平成30年6月30日

(2) 教育委員会会議の開催状況

教育委員会の会議は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律及び天草市教育委員会会議規則に基づき、6人の教育委員が教育に関する事務の管理及び執行の基本的な方針、委員会規則の制定等、教育に関する様々な議題について審議します。

この会議は、毎月1回開催する定例会と、必要に応じて開催する臨時会があり、平成26年度においては、定例会を12回、臨時会を3回開催し、議案63件、協議報告37件について審議しました。

なお、会議は、人事等の案件を除き公開しています。

2 教育委員の主な活動

教育委員の主な活動は、次のとおりです。

(1) 学校訪問

教育委員会は、年間を通して市内の幼稚園や小・中学校を訪問し、教育課程、学習指導、生徒指導その他専門的事項について指導・助言等を行うとともに、その学校の取り組みや抱えている課題の把握に努めています。この際、教育委員も参加し、校長との意見交換や授業・施設の視察等を行いました。

学校訪問の状況

区分	対象	期日	教育委員の出席状況
幼稚園訪問	4幼稚園	平成27年 1月14日～平成27年 1月28日	延べ 8人
小学校訪問	22小学校	平成26年 6月16日～平成27年 2月16日	延べ29人
中学校訪問	13中学校	平成26年 6月26日～平成26年10月30日	延べ15人

(2) 研修会への参加

教育委員会では、教育委員会関係団体の行事や研修会に参加し、情報交換や研さんに努めています。平成27年1月30日には、熊本県市町村教育委員研修大会に3名の教育委員が出席しました。

(3) その他の主な会議や行事

会議・行事名等	期 日	教育委員の出席状況
服務宣誓式	平成26年 4月 4日	5人
入学式・入園式	平成26年 4月 9日・10日	延べ13人
社会を明るくする運動推進委員会	平成26年 6月25日	2人
成人式(10地区)	平成26年 8月、27年 1月	延べ17人
研究発表会(小中学校研究指定校6回)	平成26年10月～平成27年 1月	延べ26人
教育力活性化推進大会	平成26年 7月12日	5人
退職者感謝状贈呈式	平成27年 2月27日	5人
子ども読書フェスティバル(講演、発表)	平成27年 1月10日	1人
卒業式・卒園式	平成27年 3月	延べ13人

3 附属機関の状況

政策等を立案するに当たり、専門的な判断を要する事案等について、各関係者の意見を広く聴取し、様々な角度から議論を行うため、附属機関を設置しています。審議会等の開催状況は次のとおりです。

審議会等の名称	開催回数	主な審議案件
天草市奨学生選考委員会	1回	奨学生の選考
天草市就学指導委員会	2回	心身に障害のある児童生徒の就学指導
天草市立学校給食センター運営委員会(各センターごとに設置)	各2回	給食費の決定、給食日数、納入業者の承認管理運営
天草市社会教育委員会議	2回	社会教育事業の事業計画、運営方針、第3次天草市生涯学習推進計画
天草市立図書館協議会	4回	事業計画、運営方針、図書館整備基本構想に関する協議、施設研修
天草市勤労青少年ホーム運営委員会	2回	事業計画、運営方針

4 教育委員会の情報発信

教育委員会では、教育に関する制度や手続等の周知を図るとともに、教育委員会の取組みに関心を持っていただくため、市民の皆様には様々な情報を提供しています。

平成26年度においては、教育委員会が主催する大会等の行事については、「市政だより天草」で随時掲載し周知に努めました。また、教育委員会定例会及び臨時会の開催日時、教育の現状及び課題、施策等について、天草市ホームページ上で情報の提供を行っています。

Ⅲ 点検評価の結果

天草市教育振興基本計画の「基本方針」「努力目標」に基づく事務事業について評価を行いました。

なお、努力目標に対応する事務事業の評価の具体的内容については、別添の「点検評価調書」を参照してください。

基本方針	<p>① 家庭を基盤とし、子どもたちの基本的な生活習慣や態度を養い、それぞれの個性と能力を十分発揮し、互いを認め合い、心豊かに生きる子どもの育成</p>
取り組みと成果	<p>学校教育課</p> <p>(1) 道徳教育・人権教育の推進 道徳の授業では、道徳学習指導要領に即した指導が行われているか、また、人権に配慮した授業が展開されているかを授業参観において確認し、直接、授業者に指導している。そのため、人権を尊重した学級経営・授業づくりが行われている。</p> <p>(2) 特別支援教育の推進 市全体の課題である「移行支援」と「特別支援教育コーディネーターの役割」に焦点を当て、事例研究と実践発表を設定し、コーディネーター研修を実施した。そのため、地区内での連携が深まり、参加者の実践への意欲の向上を図ることができた。また、園・学校のニーズに応じることのできる巡回相談員を委嘱できたことで、要望に応じた相談が行われるようになった。そのため、発達障がい等のある児童生徒の支援のあり方や校内支援体制について、園・校内での共通理解と実践が図られるようになった。</p> <p>(3) 環境教育の推進 学校版環境ISOコンクールへ市内全小中学校が参加することにより、各学校の地域性を活かした特色ある活動が展開され、児童生徒の環境保全に対する意識が高まった。</p> <p>(4) 心の教室相談事業 中学校の相談室に「心の教室相談員」をそれぞれ1人配置し、不登校気味の生徒の適応指導や問題行動等に関係する生徒の教育相談等を実施し、問題解決に向けた指導、援助を行った。</p> <p>(5) 適応指導教室設置事業 教員免許を有する適応指導教室教員2名を配置し、不登校(気味)の生徒に対し、学習指導、教育相談等を実施した。</p> <p>(6) 教育相談体制の充実 子育て全般及び教育全般において、教育相談員によるカウンセリングや助言指導、研修の実施により、特別支援教育推進、不登校やいじめ対策、幼保小中連携推進、幼児教育等の充実を図ることができた。</p> <p>(7) スクールバス運行事業 小中学校の統廃合により、遠距離となった児童・生徒の通学手段として、スクールバス49台(うち市有バス6台)、スクールボート1隻を運行(航)管理業務委託により運行(航)し、児童・生徒の安心安全な通学環境を維持することができた。</p>
	<p>教育総務課</p> <p>(1) (仮称)本渡東小学校建設事業 本渡東地区の志柿小学校、瀬戸小学校、本渡東小学校の学校統合を進めるために、学校建設に伴う造成測量設計及び実施設計を行った。</p> <p>(2) (仮称)有明小学校建設事業 有明地区の大楠小学校、浦和小学校、島子小学校の学校統合を進めるために、学校建設に伴う実施設計、屋外環境設計、地質調査、家屋調査を実施した。</p>

取り組みと成果	教育総務課	<p>(3) 小・中学校施設営繕事業 小学校33件・中学校17件の工事を実施した。</p> <p>(4) 小学校施設耐震補強事業 小学校屋内運動場天井等総点検11校及び吊り天井撤去工事4校を実施した。</p> <p>(5) 中学校施設耐震補強事業 中学校屋内運動場天井等総点検4校及び天井等落下防止対策工事設計業務委託7校を実施した。</p>
	生涯学習課	<p>●家庭教育支援員配置事業・家庭教育学習支援事業</p> <p>①亀川小学校、河浦小学校に家庭教育支援員を1名ずつ配置し、学校や地域の実情に応じて、情報紙の発行・配付、相談体制づくりや対応(学校及び家庭)、家庭教育講話や「親の学びプログラム」の普及等の学習機会の提供家庭教育支援を行った。</p> <p>②家庭における教育力の再生を図ることを目的として、社会教育指導員2名、家庭教育支援員2名、天草教育事務所社会教育主事等で連携し、小学校25校、中学校7校で基本的生活習慣、食育、健康教育などをテーマとして家庭教育に関する講座が実施したほか、幼稚園4回、保育所(園)7回、公民館6回、その他児童館等で23回と、小中学校のみならず様々な場で家庭教育講話を開催することができた。</p>
評価・課題	学校教育課	<p>(1) 道徳教育・人権教育の推進 自他の生命を尊重する心や規範意識を持った豊かな感性を育てるために、学校の教育活動全体での心の教育の充実が今後も必要である。また、道徳教育や人権教育については、地域・保護者への啓発が必要であるため、連携や啓発の方法について学校に指導していく必要がある。</p> <p>(2) 特別支援教育の推進 「移行支援」の現状を把握し、その必要性と効果を周知し、地区内での連携の強化を図っていけるよう、コーディネーターの資質の向上を図る研修を企画運営する必要がある。また、園・学校のニーズに応じる巡回相談員の専門性について周知するとともに、継続した相談ができるような体制づくりが必要である。</p> <p>(3) 環境教育の推進 小中学校の教育活動を通して、環境問題について、思考・判断力や実践力を培っていくことは、今後ますます重要である。このため、これまでの各学校の取組みに工夫を加え、継続して取り組むことにより、児童生徒の環境保全に対する意識を更に高める。また、各学校の取組みを更に充実させるため、学校版環境ISOの活動において具体的な数値目標(例:前年比5%削減など)を設定し、児童生徒が自らの活動の成果を実感できるような取組みを工夫する必要がある。</p> <p>(4) 心の教室相談事業 教師への相談以上に生徒が気軽に相談ができるようになり、生徒及び保護者に安心感やゆとりが生まれ、問題解決への糸口が見出されている。社会環境が変化する中、不登校の生徒が増えており、未配置校においても設置を進める必要がある。</p> <p>(5) 適応指導教室設置事業 不登校を解消し指定の学校に復帰できることが最終目標であるため、それに向けて指導支援を行う必要がある。</p> <p>(6) 教育相談体制の充実 悩みや不安、問題を抱える保護者や教職員等からのニーズは高い。中でも「ことば」に関する相談が増加傾向にあるが、さらに相談内容に応じて専門の相談員が対応できる相談体制の充実と事業の周知の工夫が必要である。</p>

評価・課題	学校教育課	<p>(7) スクールバス運行事業 スクールバスの運行は、学校統廃合に伴うものであり、今後の学校統廃合計画により、さらに運行路線の増加が見込まれており、保護者及び学校との調整が不可欠である。安心安全かつ円滑な運行を実施するためには、学校、保護者、運行管理受託事業者、教育委員会の連携を密にすることが重要である。</p>
	教育総務課	<p>(1) (仮称)本渡東小学校建設事業 天草市学校規模適正化(学校統廃合)推進計画に基づき、平成30年4月の開校を目指して計画とおりに進めている。</p> <p>(2) (仮称)有明小学校建設事業 天草市学校規模適正化(学校統廃合)推進計画に基づき、平成30年4月の開校を目指して計画とおりに進めている。</p> <p>(3) 小・中学校施設営繕事業 各学校の規模及び構造、建設年度により、劣化に違いがあるが、優先順位での計画により進めている。しかし緊急の修繕や工事が多く、限られた予算の中で全てを実施するのは非常に困難な状態である。そのような中で、予定工事については、調整を行い概ね実施する事が出来た。今後も各学校の状態を把握し、計画的に事業の実施を図りたい。</p> <p>(4) 小学校施設耐震補強事業 小学校の躯体の耐震化は100%完了しているが、非構造部材の耐震化に取り組む必要がある。</p> <p>(5) 中学校施設耐震補強事業 中学校の躯体の耐震化は100%完了しているが、非構造部材の耐震化に取り組む必要がある。</p>
	生涯学習課	<p>●家庭教育支援員配置事業・家庭教育学習支援事業 家庭教育支援員は市域が広い為、支援員は2名配置となっており、通常の任期は2年～3年となっているため、次の人材の確保が必要である。 また、家庭教育講座については、家庭教育支援員及び社会教育指導員により連携して行い、公民館講座や健康増進課との連携により3・5歳児健診時も講話を行い、家庭教育の機会の拡充を図る。</p>

	基本方針	② 生きる力の基盤となる「確かな学力」を育み、子どもたちの創造性を 培い、自主及び自律の精神を養い、郷土「日本の宝島天草」を愛し国際 社会に生きる心身ともに健康な日本人の育成
取 組 み と 成 果	学校教育課	<p>(1) 学校教育研究委員会 学校教育研究委員会では、よりよい教育実践のための計画書や基礎的な参考資料・問題集等を作成してきた。平成26年度は、学習指導要領の改訂に伴って、平成27年度からの小学校教科用図書の改訂に伴う教科年間指導計画を作成し、市内全小学校に配布することができた。また、市内小・中学校の全児童・生徒に対して心のアンケートを実施し、その結果を分析・考察し実態を明らかにするとともに、各校のいじめ防止のための具体的な対策を協議し、課題解決に向けての効果的な取組みの発信を行った。</p> <p>(2) 外国青年教師招致事業 国際化時代に備えた英語教育と国際理解教育の推進を図るため、外国語指導助手11人を配置した。中学校においては生徒の英語に対する興味、関心が高まり、コミュニケーション能力の育成をより図ることができ、小学校では外国語活動等で活用を図った。また、日常的に外国人と接する中で外国の文化や生活習慣に親しむことができた。</p> <p>(3) 学習指導補助教員の配置 学習指導補助教員は平成26年度末時点で44人を配置し、チームティーチングを実施することで、一人一人の児童生徒の実態に応じたきめ細かな学習指導を行った。また、安全面に配慮した生活指導においても効果が上がっている。</p> <p>(4) 読書活動支援事業 学校での読書活動を推進するため、18人の学校司書を配置した。これにより、読書に対する児童生徒の意欲の向上が図られるとともに、図書室の環境整備・蔵書の充実、学習指導への協力等更なる充実が図られた。</p> <p>(5) 総合的な学習活動支援事業 「総合的な学習の時間」において、自然体験や社会体験など様々な学習を実施することができた。小学校22校、中学校13校で各々の活動に応じ、社会見学の交通費や講師招聘の謝礼等に活用されており、学習内容の充実が図られた。</p> <p>(6) ふるさと体験事業 各学校において、前年度の他校の取り組み等も参考にしながら、より充実した内容の体験等の活動が実施できた。小学校22校で実施され、文化交流館での作陶やシーカヤック等の体験活動、歴史資料館等の見学などをとおして天草のすばらしさを認識することができた。また、世界遺産登録候補の崎津天主堂を見学コースに組み込み、天草の文化遺産の素晴らしさについて学ぶ機会とした小学校もあった。</p> <p>(7) 学校訪問の充実 小学校22校、中学校13校合計35校すべての学校を訪問指導することにより、現状を把握することができ、課題解決に向けての実践を確認し、必要に応じて、指導助言することができた。また、毎年度、継続的、計画的に行っていることにより、指摘事項の改善や諸計画等の修正も含めて、本市教育水準の向上に資することができた。</p> <p>(8) 研究指定校の成果の普及・活用</p>

取り組みと成果	学校教育課	<p>天草市教育の質の向上を図ることをねらいとして、平成26年度は市内小・中学校の中から研究推進校として5校を指定した。研究推進校では、教科等教育、健康教育、心の教育の領域ごとに、それぞれの学校で児童の実態に即した指導法の工夫・改善や評価等の実践的研究が推進され、その成果を研究発表会という形で市内の全学校に普及することができた。</p>
	教育総務課	<p>(1) 離島高校生修学費支援事業 御所浦地区から高等学校等へ進学する際の、交通費（船賃）及び下宿費等88名分を助成した。</p> <p>(2) 姉妹都市教育交流事業 平成26年8月2日～8日の日程で、エンシニタス市から生徒3名と引率者1名を受け入れた。短期間ではあったが、教育交流事業・五和中学校との交流学习事業・ホームステイ等をとおして、エンシニタス訪問団の方々と国際交流を深めることができた。</p> <p>(3) 小・中学校統合推進事業 天草市学校規模適正化（学校統廃合）推進計画に基づき、深海小学校と久玉小学校の学校統合を推進するため、学校統合協議会（地区振興会の代表、区長代表、保育所の保護者代表、PTAの代表、校長等で構成）を設置し、統合について協議を行ったが、地元からの理解を得られておらず、協議は整っていない。 平成26年4月に統合した五和中学校の旧仮設校舎及び旧御領鬼池小学校仮設校舎の解体を実施した。</p>
	生涯学習課	<p>●成人式 旧市町10箇所において、“おとな”になったことを自覚し、みずから生き抜こうとする青年を祝い励ますため「成人式」を実施した。成人式をきっかけに、社会人としての責任と義務を自覚し、明るい選挙を推進し、交通安全についても再考する機会となり、また、久しぶりに再会する友人や恩師と旧交を温める良い機会にもなっている。 各地区出身者を中心に、多くの保護者や地域の来賓の臨席を得て、和やかな雰囲気の中で式典を開催しており、新成人の出席率も85.7%と非常に高かった。</p>
	学校給食課	<p>(1) 地産地消の推進 本市の豊かな食材を学校給食に生かしながら、安全・安心でおいしい学校給食を提供することにより、子どもたちの心身の健全な発達と毎月「食育の日」設定・推進により、食に関する正しい知識を養うことができた。また、地域で栽培している特産品(ボタンボウフウ)についても、積極的に活用し、地域の振興と活性化に寄与することもできた。</p> <p>(2) 学校給食施設整備事業 天草市学校給食基本計画に基づき、倉岳給食センターを栖本給食センターに統合するため、栖本給食センターを改修する間、当初は旧河内小の調理室を改修して給食を提供するようにはしていたが、排水処理が対応していないことが分かり、急遽施設・設備が古い倉岳給食センターで対応することにしたため、問題・課題もあったが、職員一丸となり、知恵を出し合いながら、2学期から栖本の小・中学校へ給食を配送することができた。 栖本センターの改修については、市場の要因により、当初の出来高を達成することはできなかった。</p>

評価・課題	学校教育課	<p>(1) 学校教育研究委員会 今後教育改革の動向を見据え、基礎的・基本的知識及び技能の確実な習得とそれを活用するときに必要な思考力・判断力・表現力の育成をめざした資料集や問題集等の作成が必要である。また、いじめ防止には、早期発見、早期対応が効果的であることから、今後も定期的にいじめに関するアンケートを実施し、結果を分析・考察し実態を明らかにする必要がある。</p> <p>(2) 外国青年教師招致事業 外国青年を外国語指導助手として市内小・中学校に配置し、生きた外国語の学習、異文化交流を通して語学力の向上と外国語の授業の改善が図られた。また、小学校に巡回訪問することで、児童が外国語に触れ、外国語に親しむことができた。今後は、学校外での取り組みも進める必要がある。</p> <p>(3) 学習指導補助教員の配置 学習指導補助教員の配置については、各学校からの配置要望が多いため、各学校の状況を十分把握して、優先順位を設け効果的な配置を行う必要がある。</p> <p>(4) 読書活動支援事業 専門的知識を有する司書の配置により、蔵書分類、図書室のレイアウト等環境整備が充実し、又新刊図書の紹介、本の借り方指導等が徹底され図書室利用の活性化、児童・生徒の読書活動意欲が促進された。また、読み聞かせをしたり、童話発表会の指導・助言を行ったりするなど、専門性を生かした取り組みができています。今後は、学校の統廃合による適正な配置と人員の確保が重要となる。</p> <p>(5) 総合的な学習活動支援事業 事業の目的である体験活動等の学習で経験した内容を、いかに学習意欲の向上に繋げるか、これまでの実績を検証しながら効果的な学習計画を検討する必要がある。</p> <p>(6) ふるさと体験事業 平成26年度から「総合的な学習活動支援事業」の中で実施することとなったが、これまでの実績を踏まえ、有効な取り組み方法を検討する必要がある。</p> <p>(7) 学校訪問の充実 学校訪問の形態は全日訪問、経営訪問、事務局訪問とあるが、前年度の訪問で把握した各学校の実情に応じて、より効果的な訪問の在り方を検討する必要がある。また、平成24年度からは、中学校も全面実施となり、小・中ともに新学習指導要領による教育活動が展開されているので、学校訪問での指導事項、確認事項についてもさらに検討を重ねる必要がある。</p> <p>(8) 研究指定校の成果の普及・活用 市指定教育研究推進校については、今後も研究推進校を指定し、その成果を市内の全幼稚園・小・中学校に普及していくことで、天草市教育の質の向上を図っていく必要がある。</p>
	教育総務課	<p>(1) 離島高校生修学費支援事業 ・本市における教育機会均等の観点から、高等学校等が設置されていない御所浦地区の高校生が、安心して勉学に打ち込める環境を整備することができた。</p>

評価・課題	教育総務課	<p>・御所浦架橋事業の長期化に伴う離島のハンディキャップを解消する必要があるため、通学に係る保護者負担分等についての軽減策の実施が課題である。</p> <p>(2) 姉妹都市教育交流事業</p> <p>・異文化体験や国際理解を深めることにより、相互において大変意義のある事業となった。</p> <p>・多くの市民に参加・交流を促していくために、政策企画課とも連携して積極的に多文化共生の意識啓発を行っていく必要がある。</p> <p>(3) 小・中学校統合推進事業</p> <p>複式学級の解消と学校規模の適正化により、児童がよりよい教育環境の中で、より効果的な教育が受けられるように、天草市学校規模適正化(学校統廃合)推進計画を進めていかねばならない。</p> <p>現在までに学校統合により廃校となった跡地については、利活用が課題である。</p>
	生涯学習課	<p>●成人式</p> <p>今後新成人の数は著しく減少する見込みであり、出席率を保ちながら、新成人や保護者、地域にとって魅力ある成人式の在り方について検討する必要がある。新成人数の減少を見据え、対象者へのアンケート調査等を実施しながら、適切な開催の在り方の検討を行う。</p>
	学校給食課	<p>(1) 地産地消の推進</p> <p>食材によりばらつきがあり、米は100%の地産地消率であるが、肉類は地場産の価格が高く、市外からの物が多い。野菜等は時期により地元産の食材がないなど、安定した量の確保についても、課題が多い。</p> <p>今後は、行政として横の連携(農林・水産振興課)を強化し、地元特産品の活用を図るようにする。</p> <p>(2) 学校給食施設整備事業</p> <p>職員が知恵と汗を出しながら、倉岳センターで栖本分の給食も提供することができたのは、評価できる。</p> <p>27年7月末で栖本センターの改修工事を完了し、2学期から予定どおり栖本給食センターで給食の提供をすることができるかが課題である。</p>

基本方針	③ 市民一人一人が生涯を通じていつでも自由に学び、文化・スポーツに親しむことを通じて生きがいを持ち、学習や活動の成果を社会に生かすことができる生涯学習社会の形成
取り組みと成果	<p>●コミュニティセンター整備事業・移動図書館事業・読書活動推進事業・生涯学習推進事業・勤労青少年ホーム教養講座</p> <p>いつでも、どこでも、自由に、多様な学習の機会から選択して学ぶことができ、その成果が適切に評価される環境を整備し、生涯学習の振興に努めるために、生涯学習推進事業（公民館主催の各種講座）、勤労青少年ホーム教養講座など学習機会の提供、あるいは童話発表会などの学習の成果を発表する場の提供を図った。</p> <p>また、地域住民が気軽に学べる場所として、社会教育施設の整備を図るとともに、移動図書館車等を活用して、図書館から遠距離にある地域に居住する市民へも読書の機会を提供した。</p>
評価・課題	<p>●コミュニティセンター整備事業・移動図書館事業・読書活動推進事業・生涯学習推進事業・勤労青少年ホーム教養講座</p> <p>それぞれのライフステージや現代的課題に対応した講座等を開催した。生涯学習推進事業（公民館講座）は再編後2年が過ぎ、学習機会の提供に特化したことと併せ、市民全体に学習の機会を提供する必要がある講座旧市町単位で実施する講演会・講座「全体講座」と学習の機会を得にくい市民（高齢者等）を対象とした講座を開催した。</p> <p>勤労青少年ホーム教養講座では、より多くの青少年が受講できるように短期講座を中心に提供したほか、ホームの周知及び会員拡充のために、年齢に関係なくだれでも参加できるオープン講座を開催した。</p> <p>講座等の開設の仕方や形態については、地区振興会等の諸団体・諸機関との連絡、調整をはかり、共同事業を企画するなど新たな事業の展開が必要である。</p> <p>講座の選択にあたっては、今後も利用者アンケート等を参考に、地域住民や利用者のニーズにあった講座を取り上げていく。若い世代や子ども向けの講座など対象を絞った事業を考案するなど、それぞれの公民館の地域性や実情に応じた魅力ある講座の開催を検討していくことで、より多くの参加者が得られるように努める。</p> <p>また、チラシやホームページ等も活用し周知を図るとともに、地域づくりや職業的スキルアップを支援し、人材育成につながるよう展開していかねばならない。</p> <p>社会教育施設整備については、すべての施設の耐震工事を終了したが、基本的には維持改修がほとんどであった。</p>

基本方針	④ 学校・家庭・地域社会がそれぞれの責任を果たし、連携を図ることができる、地域社会の特性を踏まえた教育行政の推進
取り組みと成果	<p>学校教育課</p> <p>(1) コミュニティスクールの推進に向けた取り組み 平成26年4月1日付けで、五和小・中学校に学校運営協議会を設置した。13人の学校運営協議会委員を任命し、地域の教育力を積極的に取り入れた学校運営が行われた。本町小学校では、これまでの4つの支援コミュニティの取組を継続するとともに、子どもたちへの学習支援を行う学習支援ボランティアの取組も新たに始めた。以上の取組により、地域の教育力を積極的に学校教育へ活かすことができ、児童の豊かな心の育成や学力の向上につなげることができた。</p> <p>(2) 学校の自己評価 市教委への報告の様式を大まかに示したことにより、各学校の学校評価の在り方について、その状況把握が容易になり、より客観的に取組の様子について把握することができるようになった。また、校長会議や教頭研修会において、他校の取組の様子を紹介、発表することで、学校評価の在り方について研修を深めることができた。</p>
	<p>生涯学習課</p> <p>(1) 社会を明るくする運動・教育力活性化推進大会 社会を明るくする運動は、すべての国民が、犯罪や非行の防止と、罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動である。 ポスター、横断幕、のぼり旗等の掲示や設置による広報活動やチラシ、啓発用品の配布による街頭啓発活動の実施。社会を明るくする運動推進委員会の開催高校生や一般市民からの標語及び小中学校児童生徒の作文を募集し、推進大会で表彰や作文の発表等を行った また、天草市の教育の現状について理解を深めるとともに、これからの教育のあり方や方向性を見定める機会とし、学校・家庭・地域社会が一体となって連携・協力し、学校教育や社会教育をはじめとするすべての分野の教育力の活性化を推進することを目的として、教育力活性化推進大会と社会を明るくする運動推進大会を合同で開催した。</p> <p>(2) 放課後子ども教室・青少年健全育成事業 家庭・学校・地域の連携を強化し、青少年教育に携わる指導者の育成や青少年団体の自主活動の支援など地域の教育力の向上と青少年の健全育成を図るため、放課後子ども教室事業等により地域住民の協力を得て、放課後等の子ども達の居場所の確保や遊びの伝承、学習機会の提供を図ることで子どもたちの自主性や創造性を育む活動を支援した。 また、地域や各種団体が行う青少年の各種体験事業や、他地域との交流事業等の支援を行う青少年健全育成事業を行った。</p>

評価・課題	学校教育課	<p>(1) コミュニティスクールの推進に向けた取組み 本町小学校及び五和小・中学校のコミュニティスクールについては、学校と地域が一体となって子どもたちの教育に取り組んでおり、豊かな心や確かな学力の育成の面から、大きな成果があった。今後、この3校の取組をモデルとして、コミュニティスクールを他の学校においても拡大していく必要がある。</p> <p>(2) 学校の自己評価 学校の事務負担を増加させずに、効果的な学校評価が実施できるよう、評価手法等の調査や優れた取組の普及に努めていく必要がある。</p>
	生涯学習課	<p>(1) 社会を明るくする運動・教育力活性化推進大会 社会を明るくする運動については作文や標語の募集を行い、保護司会と連携して啓発活動に取り組むことができた。また、推進大会の開催により、天草市の教育の現状について理解を深め、これからの教育のあり方や方向性を見定める機会とし、すべての分野の教育力の活性化を推進することができた。 市民のニーズや社会状況に合わせた講師や事例発表の内容等を検討していく必要がある。</p> <p>(2) 放課後子ども教室・青少年健全育成事業 事業を実施している地域や団体においては、事業の成果も出ている。地域住民の参画を得ることで実施可能な事業であるが、ボランティアとして活動できる人は限られており、市域全域への事業の拡大は難しい状況ではあるが、事業周知を広報等で行っていききたい。 また、行政の支援がなければ継続も難しい事業であり、引き続き支援を行いたい。</p>

IV 外部点検評価

1 点検評価員

(50音順・敬称略)

氏 名	所 属 等
石 橋 敏 郎	熊本県立大学総合管理学部教授
松 尾 博 之	元天草市教育委員

2 会 議

第1回点検評価員会議

- ・ 平成27年 7月14日(火) 本庁別館 教育棟 2階会議室

第2回点検評価員会議

- ・ 平成27年 8月 6日(木) 本庁別館 教育棟 2階会議室

3 点検評価員の主な意見

①教育総務課所管事業

- ・ (仮称)本渡東小学校建設事業について、学校規模適正化を図るための事業であり、安全な学校を整備する必要がある。今後の方向性については、調書記載のとおり「継続」が妥当である。
- ・ (仮称)有明小学校建設事業について、本事業についても、学校規模適正化を図るための事業であり、安全な学校を整備する必要がある。今後の方向性については、調書記載のとおり「継続」が妥当である。
- ・ 小学校施設営繕事業について、各小学校からの要望をもとに実施されているが、予算が伴っていない。今後も引き続き、優先順位を付けて取り組む必要があると思われる。方向性については、調書記載のとおり「継続」が妥当である。
- ・ 中学校施設営繕事業について、本事業についても、各中学校からの要望をもとに実施されているが、予算が伴っていない。今後も引き続き、優先順位を付けて取り組む必要があると思われる。方向性については、調書記載のとおり「継続」が妥当である。
- ・ 小学校施設耐震補強事業について、学校施設の安全性を確保するための事業であり、極めて重要である。今後も計画に基づき事業を進める必要があると思われる。方向性については、調書記載のとおり「継続」が妥当である。
- ・ 中学校施設耐震補強事業について、本事業についても、学校施設の安全性を確保するための事業であり、極めて重要である。今後も計画に基づき事業を進める必要があると思われる。方向性については、調書記載のとおり「継続」が妥当である。
- ・ 離島高校生修学費支援事業について、離島振興法を活用した事業であり、御所浦地区の高校生の保護者にとって有益な補助金となっている。一方、天草市以外の高校へ進学した生徒の下宿等経費については、他地区から進学し下宿等をする場合も同様に必要となるため、平等性に欠けた制度になっている。対象を天草市内の高校に進学した場合に限定するべきではないか。今後の検討課題である。
- ・ 姉妹都市教育交流事業について、天草市とエンシニタス市の双方にとって、大変意義の

ある事業である。今後も、派遣する際の補助金等について見直しを行いながら事業に取り組む必要があると思われる。方向性については、調書記載のとおり「見直して継続」が妥当である。

- ・ 小・中学校統合推進事業について、学校規模適正化を図るための事業であり、子ども達にとって、より良い環境を整備する必要がある。地元等の理解を得ながら進めることが重要な点である。今後の方向性については、調書記載のとおり「継続」が妥当である。

②学校教育課所管事業

- ・ 道徳教育・人権教育の推進について、天草市教育振興基本計画に基づく事業で学校訪問の際に行われているが、マンネリ化しやすい部分があるため、やり方等を工夫する必要がある。方向性については、調書記載のとおり「継続」が妥当である。
- ・ 天草市特別支援教育総合推進事業について、会議・研修は内容が重要であるため、固定化しないように、内容の見直しを図りながら、今後も継続して事業を進める必要があると思われる。相談事業については、類似している他事業との統合を検討し、将来的には総合相談事業として一本化する方向で考えるべきではないか。
- ・ 環境教育の推進(環境にやさしい学校づくり)について、環境教育への一層の意識高揚を図るためにも、取り組み活動が充実している学校については顕彰の機会を設け、市表彰を実施することが重要である。ここ数年の検討課題となっているが、来年度については「表彰」を検討する必要があるのではないか。
- ・ 心の教室相談事業について、重要な事業であるため、人選に配慮しながら、未設置校を解消する必要がある。相談事業については、将来的には類似している他事業と統合する方向で考えるべきである。
- ・ 適応指導教室設置事業については、学校に登校できない子ども達にとって必要な事業である。中学生が対象となっているが、需要は小学生にもあると思われる。今後は、対象を広げる方向で検討する必要があるのではないか。
- ・ 教育相談事業について、本事業を必要とする潜在的なニーズは高いと思われる。教育相談カウンセラーは、熊本市等の地元以外から配置してあるが、予算を有効活用するためにも、地元人材を活用することは出来ないのか。今後の検討課題である。
- ・ スクールバス運行事業について、学校の統廃合に伴い遠距離通学者も増加しており、今後バスの台数についても増加が見込まれる。安全・安心面から必要な事業である。バス事業者に対する安全運行等の指導説明と同様に、運転手にも適正に指導等を行うことが重要である。
- ・ 学校教育研究委員会について、色々な課題に対して、「教育課程部会」「いじめ不登校部会」「小中一貫教育研究部会」を組織して部会ごとに取り組みされており、重要な事業である。可能であれば、部会ごとに評価することが望ましい。
- ・ 外国青年教師招致事業について、昨年度に指摘した「外国語指導助手の担当校」が見直され、学校間及び外国語指導助手間にあった授業数の差の解消につながっている。評価される点である。今後は委託等の検討も必要になるとと思われるが、当面は調書記載の

とおりに「継続」が妥当である。

- ・ 学習指導補助教員設置事業について、学校からの要望数に対して配置数が不足している。予算の問題もあり、真に配置が必要な学校の選定が重要である。今後の方向性については、調書記載のとおり「拡充」が妥当である。
- ・ 読書活動支援事業について、学校司書を市内全小・中学校に、巡回配置も含めて配置されており、図書室の環境整備と図書の整備が図られている。今後の方向性については、調書記載のとおり「継続」が妥当である。
- ・ 総合的な学習活動支援事業について、各校で自然体験や社会体験など様々な学習活動が実施されており、事業目的が達成されている。今後も内容を工夫し、事業に取り組む必要があると思われる。方向性については、調書記載のとおり「継続」が妥当である。
- ・ ふるさと体験事業について、学校で学習した内容を、実際にその場で見学・体験等を行うことにより理解が深まるなど、事業の目的が達成されている。平成26年度予算から「総合的な学習指導支援事業」と統合されたが、今後も引き続き、効果的な事業の推進を図っていくことが重要である。
- ・ 学校訪問指導の充実について、内容がマンネリ化しないように、毎年課題を決めて訪問することが重要である。そうすることにより、先生達の刺激にもなるのではないかと。資料の作成等が負担になってはいけないが、今後も内容を工夫し取り組む必要があると思われる。方向性については、調書記載のとおり「継続」が妥当である。
- ・ 市指定教育研究推進校補助金について、指定校が固定化されているようである。教育の質の向上のためには必要な事業であるが、今後は規模の大小にとらわれず、色々な学校を指定することが望ましい。
- ・ コミュニティ・スクールの推進に向けた取組みについて、これまでの取組みの成果を、市内の他の学校に広げていくことが課題となっているが、取り組んでいる学校に限られており、事業を広めて行くことは困難と思われる。モデル的に実施するのであれば、2～3年で十分である。本事業の継続については、地域の声を聞いたうえで、方向性・内容等を検討する必要があるのではないかと。
- ・ 学校の自己評価について、内容がマンネリ化しないように工夫する必要がある。本来は、自ら評価することにより改善につながり、よりよい学校経営となるような厳しい評価が望ましい。評価の仕方については、各学校で差が出ないような評価手法の基準づくりが重要である。今後も内容を工夫し、取り組む必要があると思われる。方向性については、調書記載のとおり「継続」が妥当である。

③生涯学習課所管事業

- ・ 家庭教育支援員配置事業・家庭教育学習支援事業について、今後、教育関係においては、相談事業が非常に重要になってくる。縦割り行政的に相談業務を行うのではなく、色々な問題が重なっているケースもあるため、総合相談所的な部門をつくり相談員等を配置する様にしたら良いのではないかと。小・中学校における相談業務も含めた教育支援相談センター等の設置が望ましい。今回、二つの事業を一本化した点は、前向きであり

評価される。また、家庭教育講座の回数が前年度と比較して増えた点についても、業務に対する意欲が感じられた。

- ・ 成人式について、天草市が誕生して10年ほど経過しており、一体化して開催することも重要である。一方、旧市町単位での開催も、メンバーについては気心が知れている人ばかりであるため、話しやすい雰囲気である点も理解できる。今後は、対象者へのアンケート等を実施しながら、検討を進める必要があると思われる。方向性については、調書記載のとおり「見直して継続」が妥当である。
- ・ コミュニティセンター整備事業について、施設を良好な状態に保つことで、生涯学習活動の推進に寄与している重要な事業である。計画的な維持管理が必要となるため、今後の方向性については、調書記載のとおり「継続」が妥当である。
- ・ 移動図書館事業について、利用冊数・利用者数を見ても、地域にとっては必要な事業である。巡回地域の拡大と図書の追加配備が課題であるが、読書振興のために積極的に取り組む必要があると思われる。方向性については、調書記載のとおり「継続」が妥当である。
- ・ 読書活動推進事業について、童話発表大会の来場者数が100名程度減っているが、台風の影響による開催日の変更や、学校の統廃合による出場者数の減少が原因とのことである。天草地方大会・熊本県大会につながる事業であり、今後も継続して実施する必要がある。なお、目標値については、前年度の実績をもとに設定することになっているが、色々な事情があった場合などは、開催状況等を考慮した目標値に変更しても良いのではないか。
- ・ 生涯学習推進事業について、学習する講座の内容が重要であり、対象者については、幅広い年齢層を対象とするべきである。「勤労青少年ホーム教養講座」と統合した事業展開を検討したらどうか。また、公民館事業と地区振興会事業とが分かりにくいようである。今後は広報誌等を利用して、周知を図る必要があると思われる。方向性については、調書記載のとおり「継続」が妥当である。
- ・ 勤労青少年ホーム教養講座について、教養講座のメニューがマンネリ化して、受講生が少ないようである。35歳までが対象となっているが、勤労青少年ホームの必要性が薄れてきているのではないか。「生涯学習推進事業」と連携を図った事業展開を検討する必要があると思われる。また、講座内容についても、時代にあった学習内容に見直すべきである。
- ・ 社会を明るくする運動・教育力活性化推進大会について、標語・作文の応募数と参加者数の実績が、いずれも目標値を上回っている。事業の目的は十分達成していると思われるが、開催場所・事業内容等については今後も検討していく必要があるのではないか。今後の方向性については、調書記載のとおり「継続」が妥当である。
- ・ 放課後子ども教室について、子育て支援課が実施している「放課後児童クラブ」と同様の事業であり、統合等を検討する必要があるのではないか。必要性を考慮し、今後は見直しを図るべきである。
- ・ 青少年健全育成事業について、小中学生の体験学習事業となっているが、本来は勤労

青年等も対象にする必要があるのではないかと。部署が違うため困難な点も予想されるが、より効果的な事業の推進を図るために、「総合的な学習活動支援事業」「ふるさと体験事業」とも調整しながら、取り組む必要があると思われる。方向性については、調書記載のとおり「継続」が妥当である。

④学校給食課所管事業

- ・ 地産地消の推進について、天草産・熊本県産の食材を使用した際には、子ども達に産地等を教えることが重要である。今後についても、地元産食材の推進に取り組む必要があると思われる。方向性については、調書記載のとおり「継続」が妥当である。
- ・ 学校給食施設整備事業について、老朽化が進んでいる他の給食センターについても、天草市学校給食基本計画に基づき、事業を進める必要があると思われる。方向性については、調書記載のとおり「継続」が妥当である。

4 総合評価

松尾博之氏

報告書は、これまでの点検評価員の指摘により、ほぼ精査されてきたように感じる。しかし、中には昨年度の報告書と記載内容が同一と言ってもよい報告書もあり、その部分では残念に思ったところである。我々2名の点検評価員は、本市の教育委員会がより良き部署にとの思いを持って点検評価に当たっている。毎年の自己点検評価は、己の為のものである。単なるセレモニーで終わるのではなく、己を高めるためのものでなければならない。そのことをしっかりと踏まえ、来年度からの自己評価に活かして頂きたい。

さて、次回からの点検評価内容であるが、新規・改修工事や営繕等の事業については、評価のしようがないため、点検評価の対象としなくても良いと思われる。また、毎年一つは、過去に点検評価の対象となっていない事業を、必ず加えることを希望する。

次に、昨年からの課題であるが、各部署に跨った方向性の同じような事業が、本年度についても幾つも見受けられた。決して予算削減という意味では無いが、もう一度各課が持ち寄り精査し、効率の良い市民の為になる事業に統一した方が良いと思われる。

今後は、以下の点に配慮して自己点検評価に取り組んで頂き、天草市教育委員会が更に発展されることを祈念する。

① 点検評価調書の記入方法について

以前に比較して全体的に非常に判り易くなった。特に、総合評価の部分は、記入方法が統一され非常に良かったように思われる。しかし、厳しい見方をすれば、課及び係によって調書作成に温度差が感じられた。文言等にも気配りが感じられ、「毎年改善していこう」という部署もあったが、例年通りの記載内容に止まっている部署も見受けられた。点検評価は、人に見せる為のものではなく、各部署一人一人の為のものであり、各部署が一年かけて頑張ってきた証のようなものである。今後、全ての部署が、その結果や意欲をこの調書において積極的に表現して頂きたい。

② 総合評価について

記入方法が統一され、非常に判り易くなった。但し、各部署により「評価」「総合評価」「方向性」の流れに、若干記入方法の理解のずれが感じられた。決して「達成状況」の数値が、低いことが悪い訳ではない。達成したくてもできない状況等を、総合評価や方向性で表現して頂きたい。「総合評価」の「今後の課題」の部分には、担当者や部署の思い・要望を、しっかりと記入した方が良いと思われる。

特に今年度指摘した部分は、市関与の必要性についてであった。今後は、事業の目的に対して、市がどのように関わり、どのような方向性で、どの程度市の関与が必要なのかを、明確に記入するよう心がけて頂きたい。

③ 方向性について

現在6段階(廃止・終了・縮小・見直して継続・継続・拡充)で表現されているが、特に継続の部分については、「積極的な継続」「現状のままの継続」「消極的な継続」があるように思われる。記入する方にも読む方にも、判断しやすい表現方法に改める方向で、検討して頂きたい。

次に、熊本県が関係する事業についてであるが、1～2事業については、「縮小」又は「終了」しても良いと思われた。市としては、「終了」等の判断は難しいと思われるが、時には思い切ることも必要である。今後、関係部署に於いて十分に協議し、結論を出して頂きたい。

V 今後の方向性

- (1) 点検及び評価に関する要領について、事務事業の今後の取組みの方向性等の見直しを行うとともに、内部評価についても統一的な「評価」となるよう、部署内で十分協議・検討を行う。
- (2) 点検評価員の意見を真摯に受け止め、事業を整理するか、もしくは、充実させるか等について検討を重ね、今後の教育行政の運営に反映させる。
- (3) 点検評価の結果を次年度の予算に反映させるため、毎年9月市議会定例会に報告する。

平成27年度 点検評価事業一覧

教育目標	基本方針	努力目標	事務事業名	部門		
<p>夢や希望を持ち、自ら学び、心豊かに生きる人づくり</p> <p>自然や伝統・文化を大切にし、郷土「日本の宝島天草」を愛する人づくり</p>	<p>① 家庭を基盤とし、子どもたちの基本的な生活習慣や態度を養い、それぞれの個性と能力を十分発揮し、互いを認め合い、心豊かに生きる子どもの育成</p>	<p>道徳教育や人権教育を推進し、思いやりや規範意識をもった豊かな感性を育て、心の教育の充実を図る。</p>	1 道徳教育・人権教育の推進	学校教育課		
			2 天草市特別支援教育総合推進事業			
			3 環境教育の推進（環境にやさしい学校づくり）			
			4 心の教室相談事業			
			5 適応指導教室設置事業			
			6 教育相談事業			
		<p>教育相談体制を充実するとともに、いじめや不登校、問題行動等の解消及び未然防止に向けた取組を推進する。</p> <p>子育て、就学・進学に関すること、特別支援教育に関することなどの教育相談の充実を図る。</p>	<p>安全・安心で快適な施設等の整備充実を図る。</p>	7 (仮称) 本渡東小学校建設事業	教育総務課	
				8 (仮称) 有明小学校建設事業		
				9 小学校施設営繕事業		
				10 中学校施設営繕事業		
				11 小学校施設耐震補強事業		
				12 中学校施設耐震補強事業		
				13 スクールバス運行事業		学校教育課
				14 家庭教育支援員配置事業・家庭教育学習支援事業		生涯学習課
	<p>② 生きる力の基盤となる「確かな学力」を育み、子どもたちの創造性を培い、自主及び自律の精神を養い、郷土「日本の宝島天草」を愛し国際社会に生きる心身ともに健康な日本人の育成</p>	<p>基礎・基本や自ら考える力を身につけさせ、確かな学力の向上に努めるとともに、健康・体力の向上を図る。</p>	15 学校教育研究委員会	学校教育課		
			16 外国青年教師招致事業			
			17 学習指導補助教員設置事業			
			18 読書活動支援事業			
			19 総合的な学習活動支援事業			
			20 ふるさと体験事業			

平成27年度 点検評価事業一覧

教育目標	基本方針	努力目標	事務事業名	部門
<p>夢や希望を持ち、自ら学び、心豊かに生きる人づくり</p> <p>自然や伝統・文化を大切に、郷土「日本の宝島天草」を愛する人づくり</p>	<p>② 生きる力の基盤となる「確かな学力」を育み、子どもたちの創造性を培い、自主及び自律の精神を養い、郷土「日本の宝島天草」を愛し国際社会に生きる心身ともに健康な日本人の育成</p>	基礎・基本や自ら考える力を身につけさせ、確かな学力の向上に努めるとともに、健康・体力の向上を図る。	21 離島高校生修学費支援事業	教育総務課
			22 姉妹都市教育交流事業	
		教育専門職としての指導力を向上させるとともに、信頼される教職員としての意識改革を図る。	23 学校訪問指導の充実	学校教育課
			24 市指定教育研究推進校補助金	
		安心・安全でおいしい給食の提供に努めるとともに、地産地消を推進する。	25 地産地消の推進	学校給食課
			26 学校給食施設整備事業	
		学校の統廃合による学校規模適正化計画を策定し、教育効果を重視した学校づくりを推進する。	27 小・中学校統合推進事業	教育総務課
	<p>③ 市民一人一人が生涯を通じていつでも自由に学び、文化・スポーツに親しむことを通じて生きがいを持ち、学習や活動の成果を社会に生かすことができる生涯学習社会の形成</p>	家庭・学校・地域の連携を強化し、青少年教育に携わる指導者の育成や青少年団体の自主活動の支援など地域教育力の向上と青少年の健全育成に努める。	28 成人式	生涯学習課
		地域住民が気軽に集える場としての社会教育施設の整備の充実を図り、生涯学習の奨励と普及を推進する。	29 コミュニティセンター整備事業	
		図書館は、市民の読書活動を推進するためボランティアの協力を得ながら、地域や家庭に広がっていくよう図書館事業を展開する。また、市民の情報センターとして、多様な要求に応えるとともに、情報を収集・管理し広範な知識や情報の発信に努める。	30 移動図書館事業	
			31 読書活動推進事業	
		公民館や社会教育施設は、住民の最も身近な行政機関として市民と協力し、社会の要請と市民の多様なニーズに対応した学習機会の提供と生涯学習の支援を図る。	32 生涯学習推進事業	
			33 勤労青少年ホーム教養講座	
			34 コミュニティ・スクールの推進に向けた取り組み	
④ 学校・家庭・地域社会がそれぞれの責任を果たし、連携を図ることができる、地域社会の特性を踏まえた教育行政の推進	35 学校の自己評価			
<p>④ 学校・家庭・地域社会がそれぞれの責任を果たし、連携を図ることができる、地域社会の特性を踏まえた教育行政の推進</p>	人権に対する正しい認識と理解を深めるための学習の機会を提供し、市民の人権意識の高揚と人権尊重の実践に努める。	36 社会を明るくする運動・教育力活性化推進大会	生涯学習課	
	家庭・学校・地域の連携を強化し、青少年教育に携わる指導者の育成や青少年団体の自主活動の支援など地域教育力の向上と青少年の健全育成に努める。	37 放課後子ども教室		
	38 青少年健全育成事業			

点検評価調書		整理番号	1				
事業名	道徳教育・人権教育の推進			担当課係名	学校教育課 指導係		
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	地域を担う人づくり	施策	学校教育のレベル向上	施策の内容 学校教育の質的向上		
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら学び、心豊かに生きる人づくり	基本方針	① 家庭を基盤とし、子どもたちの基本的な生活習慣や態度を養い、それぞれの個性と能力を充分発揮し、互いを認め合い、心豊かに生きる子どもの育成			
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	天草市教育目標の努力目標「道徳教育や人権教育を推進し、思いやりや規範意識をもった豊かな感性を育て、心の教育の充実を図る。」に基づき、人材の育成及び児童・生徒の個性の尊重を図り、併せて本市教育水準の向上に資するため、市内小・中学校の現状を把握するとともに、学校教育の一層の充実を図るため、学校訪問を行っている。						
内容	<p>○学校訪問時の指導内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係法規や児童生徒の実態、重点目標が明記された全体計画が作成されているか。 ・各教科、領域等との整合性のある年間指導計画が作成されているか。 ・児童生徒の発達段階に即した系統的な指導計画が作成されているか。 ・計画に即した実践が行われ、記録されているか。 <p>○授業参観時の指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導案に人権教育の視点が位置づけられているか。 ・人権に配慮した授業が展開されているか。 ・道徳学習指導要領に即した指導が行われているか。 <p>○心のアンケート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の規範意識やいじめ等の実態を把握するために、市内全小中学校を対象とした心のアンケートを年2回実施。 						
・全体計画、概要 (平成26年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の活動状況等	決算額	指標: 成果、活動の対象となるもの			評価		
	平成26年度(千円)	指標名	単位	平成26年度	上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
		実施学校数	校	目標値			
				実績値	35		
			目標値		4	4	4
			実績値				
総合評価	<p>○上位施策への貢献 心豊かに生きる子どもの育成に貢献している。</p> <p>○市関与の必要性 豊かな心を育み人権感覚をもつ人の育成は、地域住民、保護者の願いであり、よって市が関与する必要がある。</p> <p>○達成状況 学校訪問7日前には、各学校から道徳教育・人権教育の教育指導計画を提出させ、全体計画・年間指導計画の上記視点での点検・評価を行い、一覧表に指導事項として整理して各学校に渡している。その結果、前年の指導を基にした改善が図られている。また、実践記録は次年度の計画・実践の改善に活用されている。実際に授業参観時の上記の視点での指導は、分科会で直接授業者に伝え、その後反省・指導として文書で提出することになっている。このように、学校訪問で道徳教育・人権教育の推進が図られるよう指導を行っている。</p> <p>○今後の課題 心の教育に関してはこれで良いというゴールはない。また、規範意識の低下や、近年のネット社会への対応等を含む、いわゆる情報化の陰の部分に対応した学びも、より充実させていくことが必要である。方向性については、マンネリ化しないよう評価等やり方を工夫して継続することとしたい。</p>					方向性	継続

点検評価調書		整理番号	2					
事業名	天草市特別支援教育総合推進事業			担当課係名	学校教育課 指導係			
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	地域を担う人づくり	施策	学校教育のレベル向上	施策の内容 学校教育の質的向上			
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら学び、心豊かに生きる人づくり	基本方針	① 家庭を基盤とし、子どもたちの基本的な生活習慣や態度を養い、それぞれの個性と能力を十分発揮し、互いを認め合い、心豊かに生きる子どもの育成				
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	<p>社会の変化や子どもの障がいの重度・重複化、多様化に対応し、発達障害を含む障がいのある子どもや特別な支援を必要とする子どもの一人一人の教育的ニーズに応じた適切な教育や支援の実施に向けて、幼稚園・保育所(園)・学校・教育委員会・学識経験者・関係機関・保護者等の関係者からなる天草市特別支援教育連携協議会及び中学校区ごとの地区連携協議会を(13区)を設置し、天草市の特別支援教育の総合的な支援体制の整備及び特別支援教育の推進を図る。</p>							
内容	<p>本事業の主たる内容をコーディネーター研修、推進会議、実務担当者会議及び巡回相談とし、それらの実施を通して幼稚園・保育所(園)・学校における特別支援教育の体制整備を推進する。</p> <p>推進会議(年2回実施)では、本年度の事業全体の計画、取組について協議・評価を行い、取組の改善につなげる。また、実務担当者会議(年4回実施)では、コーディネーター研修及び推進会議に向けての協議を行い、各会議・研修の充実を図る。各会議においては、各園・学校の実態把握とともに、今日的な課題等も取り入れ、内容を充実させる。各研修においては、前年度の評価反省をもとに、研修テーマや内容を変更し、本事業の目的達成に向けた研修を行う。</p> <p>巡回相談は、各園・学校からの依頼を受け、専門的知識をもつ相談員を派遣し、専門的な立場からの助言や指導を通して、本人、保護者、教職員の悩みや課題の改善・解消につなげ、関係機関との連携と併せて、個別の支援の充実につなげる。</p>							
・全体計画、概要 (平成26年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の活動状況等	決算額	指標:成果、活動の対象となるもの			評価			
	平成26年度(千円)	指標名	単位	平成26年度		上位の施策(目標)への貢献	市関与の必要性	達成状況
	189 (一般189)	重点項目達成率	%	目標値	60			
				実績値	53			
	巡回相談件数	件	目標値			4	4	4
			実績値	135				
総合評価	<p>○上位施策への貢献 一人一人の個性と能力を十分に発揮し、互いを認め合い、心豊かに生きる子どもの育成に貢献している。</p> <p>○市関与の必要性 児童生徒、保護者、園・学校のニーズに応じた適切な支援体制の充実のため、関与する必要がある。</p> <p>○達成状況 年間計画に基づき会議・研修を行うことができた。各研修では前年度の課題点の改善に向けた研修を実施したことで、年度末評価結果の改善に繋がっている。また、巡回相談報告書の内容等から、個別のニーズへの支援の充実がみられる。</p> <p>○今後の課題 園・学校における体制整備、担当者の資質の向上に向けた取組をさらに充実させる必要がある。方向性については、内容を工夫して継続することとしたい。</p>						方向性	継続

点検評価調書		整理番号	3					
事業名	環境教育の推進(環境にやさしい学校づくり)			担当課係名	学校教育課 指導係			
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	地域を担う人づくり	施策	学校教育のレベル向上	施策の内容	学校教育の質的向上		
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら学び、心豊かに生きる人づくり	基本方針	① 家庭を基盤とし、子どもたちの基本的な生活習慣や態度を養い、それぞれの個性と能力を充分発揮し、互いを認め合い、心豊かに生きる子どもの育成				
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	児童・生徒が、環境や環境問題に関心を持ち、人間活動と環境との関わりについての総合的な理解の上に立って、持続可能な社会の構築をめざして環境の保全に配慮した望ましい働きかけのできる技能や態度を育成する。							
内容	各学校における環境教育の充実を図るとともに、児童・生徒が自ら考え行動し、環境にやさしい学校づくりのための学校版環境ISOコンクールに取り組む。 具体的には、校内ISO委員会を中心とした児童生徒の主体的な活動のもとで、宣言項目の決定、行動計画の作成、そして、実践、見直しといったPDCAの取組みを進める。							
・全体計画、概要 (平成26年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の活動状況等	指標: 成果、活動の対象となるもの			評価				
	平成26年度(千円)	指標名	単位	平成26年度		上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
		実施学校数	校	目標値	35			
				実績値	35			
			目標値		4	4	4	
			実績値					
総合評価	<p>○上位施策への貢献 環境を守ること、郷土「日本の宝島天草」を愛し国際社会で活躍する人材育成のために寄与している。</p> <p>○市関与の必要性 環境問題の取組は、世界全体での取組でもあり、市関与の必要性は極めて高い。</p> <p>○達成状況 学校版環境ISOコンクールへ市内全小・中学校が参加することにより、「宣言→行動→点検→見直し」の基本的なサイクルのもとに、各学校の地域性等を生かした特色ある活動が展開されている。各学校において、全ての教育活動における環境教育の充実が図られており、児童・生徒の環境保全に対する意識が高まっている。</p> <p>○今後の課題 今後も取組を継続し活動が充実している学校については、校長会で紹介するなど、顕彰の機会をもうけたり、市独自の表彰を行いたい。また、各教科等で扱う環境教育に関して、各学校の教育計画への位置づけを行い(位置づけが内学校)、環境教育への一層の意識高揚を図る。方向性については、やり方を工夫して継続することとしたい。</p>					方向性	継続	

点検評価調書		整理番号	4				
事業名	心の教室相談事業			担当課係名	学校教育課 教務2係		
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	地域を担う人づくり	施策	学校教育のレベル向上	施策の内容	学校教育の質的向上	
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら 学び、心豊かに生きる 人づくり	基本方針	① 家庭を基盤とし、子どもたちの基本的な生活習慣や 態度を養い、それぞれの個性と能力を十分発揮し、互い を認め合い、心豊かに生きる子どもの育成			
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	中学校の相談室に「心の教室相談員」各1名を配置し、不登校気味の生徒の適応指導や問題行動等に関係する生徒の教育相談等を実施し、問題解決に向けた指導、援助を行う。						
内容	<p>[心の教室相談員] (配置校) 本渡中1人、本渡東中1人、稜南中1人、牛深中1人、有明中1人、 倉岳中1人、新和中1人、五和中1人、天草中1人、河浦中1人 計10人配置</p> <p>(業務内容) ① 教育相談 ② 相談室登校への対応 ③ 保護者との連携推進</p> <p>(報酬)1時間当たり 1,000円 ※週20時間以内</p>						
・全体計画、概要 (平成26年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の 活動状況等	決算額	指標:成果、活動の対象となるもの			評価		
	平成26年度(千円)	指標名	単位	平成26年度	上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
	6,151 (一般 6,151)	相談件数	回	目標値			
				実績値	3,057		
	相談員設置校数	校	目標値	13	4	4	3
			実績値	10			
総合評価	<p>○上位施策への貢献 いじめ・不登校問題の解決及びその未然防止に寄与している。</p> <p>○市関与の必要性 義務教育期間であり、人間形成の重要な時期である思春期の生徒に対する心のケアを図るため、市が積極的に関与する必要がある。</p> <p>○達成状況 補正予算にて未配置校への相談員設置のための予算を確保したものの、未設置校7校中4校への配置にとどまった。</p> <p>○今後の課題 未設置校(3校)への相談員の設置を進める必要がある。方向性については、未設置校への相談員を早く埋めるようにして継続することとしたい。</p>					方向性	継続

点検評価調書		整理番号	5				
事業名	適応指導教室設置事業			担当課係名	学校教育課 教務2係		
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	地域を担う人づくり	施策	学校教育のレベル向上	施策の内容 学校教育の質的向上		
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら 学び、心豊かに生きる 人づくり	基本方針	① 家庭を基盤とし、子どもたちの基本的な生活習慣や 態度を養い、それぞれの個性と能力を十分発揮し、互い を認め合い、心豊かに生きる子どもの育成			
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	天草市勤労青少年ホームの一室に適応指導教室「カワセミ学級」を設置し、心理的又は情緒的理 由により登校できない状態にある生徒(市内中学校)に対して、「引きこもり」の防止、学校復帰等を目 的とした指導及び援助を行う。						
内容	教員免許を有する適応指導教室教員2名を配置し、不登校(気味)の生徒に対し、学習指導、教育 相談等を実施している。 カワセミ学級時間割 朝の会10:00～ (学習・給食) 帰りの会～15:00						
・全体計画、概要 (平成26年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の 活動状況等	決算額	指標:成果、活動の対象となるもの			評価		
	平成26年度(千円)	指標名	単位	平成26年度	上位の施 策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
	4,899 (一般 4,899)	通級生徒数 (うち学校へ復帰した生徒数)	人	目標値			
				実績値	9 (2)		
			目標値		4	4	4
			実績値				
総合評価	<p>○上位施策への貢献 学校に登校できない子供たちに教育を受ける機会を別に提供する事業として、その存在 意義は大きい。</p> <p>○市関与の必要性 通級する生徒は義務教育期間であるため、不登校の解消に関与する必要がある。</p> <p>○達成状況 この教室に通級しながら学び、本校へ復帰して、その後欠席もなく卒業した生徒もあるな ど、事業の目的を達成することができた。</p> <p>○今後の課題 通級生徒全員が指定の学校への復帰を最大の目標に指導しているが、それも難しい場 合は、生活リズムの安定から、将来の目標に向かった学習能力の確立など、子どもたちの 可能性を見つけ、今後も指導・支援を行う必要がある。方向性については、現在当該学級 は本渡地区のみにあるが、他の地区にも同様の教室の設置の必要性がないか考慮するな ど、拡充を図りながら継続することとしたい。</p>				方向性	継続	

点検評価調書		整理番号	6				
事業名	教育相談事業			担当課係名	学校教育課 指導係		
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	地域を担う人づくり	施策	学校教育のレベル向上	施策の内容	開かれた学校づくりの推進	
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら 学び、心豊かに生きる 人づくり	基本方針	① 家庭を基盤とし、子どもたちの基本的な生活習慣や 態度を養い、それぞれの個性と能力を十分発揮し、互い を認め合い、心豊かに生きる子どもの育成			
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	教育相談員(教育相談カウンセラー、教育指導アドバイザー)を配置し、子育ての悩み・不安・ストレス等を持つ就学前幼児の保護者及び、小・中学校の児童・生徒やその保護者を対象にした相談活動を充実させ、保護者の子育てを支援する。 また、必要に応じて教職員の悩みや学校での諸問題についての相談を実施する。						
内容	教育相談カウンセラー(臨床心理士・言語聴覚士等)は要請のあった園、学校に出向きカウンセリングを実施。助言指導や情報の提供を行う。また、教職員等の研修講師や保護者講話等も行う。教育指導アドバイザーは相談のほか教育全般への指導助言を実施。						
・全体計画、概要 (平成26年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の 活動状況等	決算額	指標: 成果、活動の対象となるもの			評価		
	平成26年度(千円)	指標名	単位	平成26年度	上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
	3,638 (一般 3,638)	カウンセラー人数	人	目標値			
				実績値	5		
	カウンセリング件数	件	目標値	136	4	4	4
			実績値				
総合評価	<p>○上位施策への貢献 子育ての悩み・不安・ストレス等の解消に向けた相談活動を充実させ、心豊かに生きる子どもの育成に貢献している。</p> <p>○市関与の必要性 子育て全般(子どもの発達や不登校等)や特別支援教育等で不安を抱える保護者、また関係教職員からのニーズは依然として高いことから、市が関与する必要性がある。</p> <p>○達成状況 就学前の幼児及び小・中学校の児童・生徒の健全な育成を図るために有効である。目的達成度は高い。</p> <p>○今後の課題 教育相談を必要とする潜在的なニーズはもっと高いと思われる。早期発見と早期対応が必要である。方向性については、ニーズに対し、より早期に対応するなどやり方を工夫して継続することとしたい。</p>					方向性	継続

点検評価調書		整理番号	7					
事業名	(仮称)本渡東小学校建設事業			担当課係名	教育総務課 施設係			
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	地域を担う人づくり	施策	学校教育のレベル向上	施策の内容	学校教育施設等の整備		
教育目標 基本方針	教育目標	・夢や希望を持ち、自ら学び、心豊かに生きる人づくり ・自然や伝統・文化を大切にし、郷土「日本の宝島天草」を愛する人づくり	基本方針	① 家庭を基盤とし、子どもたちの基本的な生活習慣や態度を養い、それぞれの個性と能力を十分発揮し、互いを認め合い、心豊かに生きる子どもの育成				
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	本渡東地区の志柿小学校、瀬戸小学校、本渡東小学校の学校統合を進めるために、教育施設を整備し、複式学級の解消を図るとともに教育環境の整備を図る。							
内容	【事業内容】 学校建設に伴う造成測量設計及び実施設計(25年度からの繰越) 【事業費】 測量設計委託料 5,616千円 実施設計委託料 23,373千円 計 28,989千円							
・全体計画、概要 (平成26年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の活動状況等	決算額	指標:成果、活動の対象となるもの			評価			
	平成26年度(千円)	指標名	単位	平成26年度		上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
	28,988 (一般 28,988)	整備校数	校	目標値	1			
				実績値	1			
			目標値			4	4	4
			実績値					
総合評価	○上位施策への貢献 学校規模適正化を図るための事業であり、貢献度は高い。 ○市関与の必要性 市立学校の整備であり、安全な学校を整備する必要がある。 ○達成状況 工期までには完了し、達成できた。 ○今後の課題 中学校に隣接した施設配置となるので、工事期間中の安全対策等について中学校と協議しながら進めていく必要がある。					方向性	継続	

点検評価調書		整理番号	8					
事業名	(仮称)有明小学校建設事業			担当課係名	教育総務課 施設係			
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	地域を担う人づくり	施策	学校教育のレベル向上	施策の内容 学校教育施設等の整備			
教育目標 基本方針	教育目標	・夢や希望を持ち、自ら学び、心豊かに生きる人づくり ・自然や伝統・文化を大切にし、郷土「日本の宝島天草」を愛する人づくり	基本方針	① 家庭を基盤とし、子どもたちの基本的な生活習慣や態度を養い、それぞれの個性と能力を十分発揮し、互いを認め合い、心豊かに生きる子どもの育成				
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	有明地区の大楠小学校、浦和小学校、島子小学校の学校統合を進めるために、教育施設を整備し、複式学級の解消を図るとともに教育環境の整備を図る。							
内容	【事業内容】 学校建設に伴う実施設計、屋外環境設計、地質調査、家屋調査 有明支所車庫解体(解体工事費はH27へ繰越) 【事業費】 実施設計委託料 17,820千円 屋外環境設計委託料 3,039千円 地質調査委託料 2,475千円 家屋調査委託料 1,275千円 有明支所車庫解体設計委託料 184千円 計 24,793千円							
・全体計画、概要 (平成26年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の活動状況等	決算額	指標:成果、活動の対象となるもの			評価			
	平成26年度(千円)	指標名	単位	平成26年度		上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
	24,793 (一般 24,793)	整備校数	校	目標値	1			
				実績値	1			
			目標値			4	4	4
			実績値					
総合評価	○上位施策への貢献 学校規模適正化を図るための事業であり、貢献度は高い。 ○市関与の必要性 市立学校の整備であり、安全な学校を整備する必要がある。 ○達成状況 学校建設に伴う実施設計及び調査等については、工期までには完了し達成できたが、有明支所車庫解体工事はH27年度へ繰越となった。 ○今後の課題 有明支所に隣接した施設配置となることから、支所への来客が多いので工事期間中の安全対策等については特に注意しながら進めていく必要がある。						方向性	継続

点検評価調書		整理番号	9					
事業名	小学校施設営繕事業			担当課係名	教育総務課 施設係			
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	地域を担う人づくり	施策	学校教育のレベル向上	施策の内容	学校教育施設等の整備		
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら 学び、心豊かに生きる 人づくり	基本方針	① 家庭を基盤とし、子どもたちの基本的な生活習慣や 態度を養い、それぞれの個性と能力を充分発揮し、互い を認め合い、心豊かに生きる子どもの育成				
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	小学校22校の施設の危険箇所及び老朽箇所を把握し、児童の安全確保と教育環境の維持向上を 図るため修繕、改修を行う。							
内容	<p><小学校の危険箇所、老朽箇所等の修繕、改修工事></p> <p>●総事業費 108,872千円 (内H25年度からの繰越額26,025千円)</p> <p>●事業内容 本渡北小トイレ改修 29,542千円(仮設トイレリース料1,866、工事請負費27,676千円) 亀川小トイレ改修 46,135千円(改修 20,110千円、増築 26,025千円) 営繕工事32,522千円(設計委託料1,264千円、不動産鑑定170千円、樹木伐採498千円 廃棄物処理329 千円、工事請負費30,261千円) 事務費674千円</p> <p>【主として整備した内容】 ・高圧受電設備改修、フェンス設置、トイレ改修、特別支援教室改修、給食用昇降機改修、 遊具取替、トイレ棟増築、防火シャッター取替等の工事を実施。</p>							
・全体計画、概要 (平成26年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の 活動状況等	決算額	指標:成果、活動の対象となるもの			評価			
	平成26年度(千円)	指標名	単位	平成26年度		上位の施 策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
	108,872 国(15,793) 一般(93,079)	整備箇所数	件	目標値	40			
				実績値	33			
					4	4	3	
総合評価	<p>○上位施策への貢献 教育環境の整った施設で学習することは、学校教育を進めるうえで重要なこ とである。</p> <p>○市関与の必要性 市立学校の整備であり、安全な学校を整備する必要がある。</p> <p>○達成状況 年次計画での工事及び各学校からの修繕等の要望の中で優先順位により 必要箇所を目標値として設定しているが、予算の範囲内で実施しなければなら ないため、目標値としている全箇所は整備できなかった。</p> <p>○今後の課題 老朽化が著しい施設が多いため優先度を決め緊急性が高いものから計画的 に実施する必要がある。</p>						方向性	継続

点検評価調書		整理番号	10					
事業名	中学校施設営繕事業			担当課係名	教育総務課 施設係			
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	地域を担う人づくり	施策	学校教育のレベル向上	施策の内容	学校教育施設等の整備		
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら 学び、心豊かに生きる 人づくり	基本方針	① 家庭を基盤とし、子どもたちの基本的な生活習慣や 態度を養い、それぞれの個性と能力を十分発揮し、互い を認め合い、心豊かに生きる子どもの育成				
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	中学校13校の施設の危険箇所及び老朽箇所を把握し、生徒の安全確保と教育環境の維持向上を 図るため、計画的に修繕・改修を行う。							
内容	<p><中学校の危険箇所、老朽箇所等の修繕、改修工事></p> <ul style="list-style-type: none"> ●総事業費 21,100千円 ●事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・設計委託料 1,685千円 ・営繕工事費 19,415千円 <p>【主として整備した内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・排水路整備、シャッター取付、鋼製建具改修、落下防止手摺設置、防水対策、 高圧受電設備改修、空調設備改修、体育館排煙装置取替等中学校の工事を実施 							
・全体計画、概要 (平成26年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の 活動状況等	決算額	指標:成果、活動の対象となるもの			評価			
	平成26年度(千円)	指標名	単位	平成26年度		上位の施 策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
	21,100 (一般 21,100)	整備箇所数	件	目標値	20			
				実績値	17			
					4	4	3	
総合評価	<p>○上位施策への貢献 教育環境の整った施設で学習することは、学校教育を進めるうえで重要なことである。</p> <p>○市関与の必要性 市立学校の整備であり、安全な学校を整備する必要がある。</p> <p>○達成状況 年次計画での工事及び各学校からの修繕等の要望の中で優先順位により必要箇所を目標値として設定しているが、予算の範囲内で実施しなければならなかったため、目標値としている全箇所は整備できなかった。</p> <p>○今後の課題 老朽化が著しい施設が多いため優先度を決め緊急性が高いものから計画的に実施する必要がある。</p>					方向性	継続	

点検評価調書		整理番号	11					
事業名	小学校施設耐震補強事業			担当課係名	教育総務課 施設係			
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	地域を担う人づくり	施策	学校教育のレベル向上	施策の内容	学校教育施設等の整備		
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら 学び、心豊かに生きる 人づくり	基本方針	① 家庭を基盤とし、子どもたちの基本的な生活習慣や 態度を養い、それぞれの個性と能力を十分発揮し、互い を認め合い、心豊かに生きる子どもの育成				
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	学校施設は、児童生徒等が一日の大半を過ごす活動の場であり、非常災害時には地域住民の応 急避難場所としての役割も果たすことから、その安全性の確保は極めて重要であるため、屋内運動 場等の天井等総点検及び吊り天井撤去工事を行う。							
内容	<p><屋内運動場天井等総点検及び吊り天井撤去工事></p> <ul style="list-style-type: none"> ●総事業費 50,477千円 ●事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・天井等総点検委託料 2,354千円 ・吊り天井撤去工事48,123円 <p>【主として整備した内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋内運動場天井等総点検 志柿小、本渡東小、瀬戸小、大楠小、島子小、倉岳小、亀川小、佐伊津小、牛深小、 深海小、久玉小 ・屋内運動場吊り天井撤去工事 本渡北小、楠浦小、浦和小、河浦小 							
・全体計画、概要 (平成26年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の 活動状況等	決算額	指標:成果、活動の対象となるもの			評価			
	平成26年度(千円)	指標名	単位	平成26年度		上位の施 策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
	50,477 国(9,400) 一般(41,077)	点検箇所数	校	目標値	11			
				実績値	11			
	整備箇所数	校	目標値	4	4	4	4	
			実績値	4				
総合評価	<p>○上位施策への貢献 教育環境の整った施設で学習することは、学校教育を進めるうえで重要なこ とである。</p> <p>○市関与の必要性 市立学校の整備であり、安全な学校を整備する必要がある。</p> <p>○達成状況 計画どおり達成できた。</p> <p>○今後の課題 旧耐震基準で建築された建物について、早急に耐震化を図る必要がある。</p>					方向性	継続	

点検評価調書		整理番号	12					
事業名	中学校施設耐震補強事業			担当課係名	教育総務課 施設係			
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	地域を担う人づくり	施策	学校教育のレベル向上	施策の内容	学校教育施設等の整備		
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら 学び、心豊かに生きる 人づくり	基本方針	① 家庭を基盤とし、子どもたちの基本的な生活習慣や 態度を養い、それぞれの個性と能力を十分発揮し、互い を認め合い、心豊かに生きる子どもの育成				
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	学校施設は、児童生徒等が一日の大半を過ごす活動の場であり、非常災害時には地域住民の応急避難場所としての役割も果たすことから、その安全性の確保は極めて重要であるため、屋内運動場等の天井等総点検及び吊り天井撤去工事を行う。							
内容	<p><屋内運動場天井等総点検及び天井等落下防止対策工事設計業務委託></p> <ul style="list-style-type: none"> ●総事業費 6,210千円 ●事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・天井等総点検委託料 842千円 ・天井等落下防止対策工事設計業務委託料 5,368円 <p>【主として整備した内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋内運動場天井等総点検 牛深中、牛深東中、新和中、天草中 ・屋内運動場等の天井等落下対策防止に伴う設計委託 本渡中、本渡東中、稜南中、有明中、御所浦中、五和中、河浦中 							
・全体計画、概要 (平成26年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の 活動状況等	決算額	指標:成果、活動の対象となるもの			評価			
	平成26年度(千円)	指標名	単位	平成26年度		上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
	6,210 (一般 6,210)	設計及び点検箇所数	校	目標値	11			
				実績値	11			
				4	4	4		
総合評価	<p>○上位施策への貢献 教育環境の整った施設で学習することは、学校教育を進めるうえで重要なことである。</p> <p>○市関与の必要性 市立学校の整備であり、安全な学校を整備する必要がある。</p> <p>○達成状況 計画どおり達成できた。</p> <p>○今後の課題 旧耐震基準で建築された建物について、早急に耐震化を図る必要がある。</p>					方向性	継続	

点検評価調書		整理番号	13					
事業名	スクールバス運行事業			担当課係名	学校教育課 教務1係			
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	地域を担う人づくり	施策	学校教育レベルの向上	施策の内容 学校教育の質的向上			
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら学び、心豊かに生きる人づくり	基本方針	① 家庭を基盤とし、子どもたちの基本的な生活習慣や態度を養い、それぞれの個性と能力を十分発揮し、互いを認め合い、心豊かに生きる子どもの育成				
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	小・中学校の統廃合により、遠距離となった児童・生徒の通学手段を確保するため、スクールバスを運行する。							
内容	<p>スクールバス・スクールボートの運行(航)管理業務委託事業(平成26年度末)</p> <p>【本渡】小学校3台(うち市有1台) 中学校1台 【牛深】小・中学校9台(うち市有3台)</p> <p>【有明】小学校2台 中学校2台 【御所浦】小学校3台 小・中学校1隻</p> <p>【倉岳】小学校2台 【栖本】小学校1台</p> <p>【新和】小学校4台 【五和】小学校7台 中学校4台</p> <p>【天草】小学校3台 中学校2台 【河浦】小学校4台 中学校2台(うち市有2台)</p> <p>計 スクールバス49台(うち市有6台) スクールボート1隻</p>							
・全体計画、概要 (平成26年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の活動状況等	決算額	指標:成果、活動の対象となるもの			評価			
	平成26年度(千円)	指標名	単位	平成26年度		上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
	265,139 (国庫補助金 39,646) (一般 225,493)	スクールバス運行校	校	目標値	21			
				実績値	21			
	乗車人数	人	目標値	1337		4	4	4
			実績値	1337				
総合評価	<p>該当児童・生徒の安心で安全な通学手段として円滑な運行を実施することができた。バス事業者に対する事業説明会の機会に合わせ安全運行のお願いや指導説明を行った。また、9月(中間)と3月(年度末)に、入札時に提出された運転業務員の管理やスクールバスの運用についての提案書の履行実績状況調査を行った。</p> <p>○上位施策への貢献 学校統廃合に伴う遠距離通学者の通学手段として、貢献度の高い事業である。</p> <p>○市関与の必要性 天草市立学校のスクールバスであり、市の関与は必要である。</p> <p>○達成状況 遠距離通学者の交通手段として安心安全な通学環境を確保することができた。</p> <p>○今後の課題 今後も、学校の統廃合により新たな需要が見込まれ、運行台数の増数による予算の拡大に繋がる可能性がある。また、「スクールバスは教育に関するものである」との位置づけを踏まえ、事業者及び運転手に対し児童生徒への対応等の指導を行い、常に安心で安全な運行に努める必要がある。</p>						方向性	拡充

点検評価調書		整理番号	14				
事業名	家庭教育支援員配置事業・家庭教育学習支援事業			担当課係名	生涯学習課 生涯学習推進係		
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	快適な生活環境づくり	施策	人と人が支え合うまちづくり	施策の内容	青少年の健全育成	
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら学び、心豊かに生きる人づくり	基本方針	① 家庭を基盤とし、子どもたちの基本的な生活習慣や態度を養い、それぞれの個性と能力を十分発揮し、互いを認め合い、心豊かに生きる子どもの育成			
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	<p>○学校・地域の実情に応じた家庭教育に関する支援体制づくりや学習機会の提供等を行う支援員を市内の小中学校に配置することにより、きめ細かな家庭教育支援を行い、家庭教育力の向上を図ることを目的とする。</p> <p>○子育てやしつけ又は思春期の子どもが抱える悩みや問題等を通じて家庭教育のあり方を見直す機会を提供し、家庭における教育力の再生を図ることを目的とする。保護者に家庭教育の重要性を再認識する機会としてもらうことができ、保護者にとって最も身近な学校で開催することにより、市全体を対象とするよりも参加しやすく、より多くの参加が見込める。</p> <p>また、講師謝金等の一部を助成や社会教育指導員等の講師を紹介することで、各小中学校(保護者会)の負担が少なくなることにより、各校での計画を促進する効果がある。</p>						
内容	<p>○亀川小学校、河浦小学校に家庭教育支援員を1名ずつ配置し、学校や地域の実情に応じて、家庭教育支援に関する業務を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報紙の発行・配付 ・相談体制づくりや対応(学校及び家庭) ・家庭教育講話や「親の学びプログラム」の普及等の学習機会の提供 <p>※「親の学びプログラム」とは、子育てのポイントを身近な話題から楽しく学んでもらうために開発された参加体験型(参加者同士の話し合いや振り返り)の学習スタイルである。</p> <p>○各小中学校に就学時健診やPTA行事等の際、家庭教育に関する講座を開催してもらい、講師謝礼や旅費等の経費は市が支出する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施回数 72回(小学校25回、中学校7回、幼稚園4回、保育所(園)7回、公民館6回、その他児童館等23回) ・延べ参加者数 2,535人 						
全体計画、概要 (平成26年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の活動状況等	決算額	指標:成果、活動の対象となるもの			評価		
	平成26年度(千円)	指標名	単位	平成26年度	上位の施策(目標)への貢献	市関与の必要性	達成状況
	1,143	家庭教育講座開催数	回	目標値			
				実績値	72		
(県支出金 658) (一般 485)	家庭教育講座参加者数	人	目標値	2,167	4	4	4
			実績値	2,535			
総合評価	<p>○上位施策への貢献 子育てにおける家庭教育の重要性を再認識する機会を設け、家庭教育力の向上を図ることができた。</p> <p>○市関与の必要性 社会の変化に伴い、家庭教育力・地域教育力の低下が懸念されるため、学習機会の提供等の支援を行っていく必要がある。</p> <p>○達成状況 家庭教育支援員については当初計画どおり2名を配置し、配置小中学校等からも高評価を得た。また、家庭教育に係る学習テーマは基本的な生活習慣、食育、健康教育など多岐にわたり、「親の学びプログラム」も取り入れた学習会も実施できた。</p> <p>○今後の課題 家庭教育支援員は市域が広いいため、支援員は2名配置となっており、通常の任期は2年～3年となっているため、次の人材の確保が必要である。また、今後の方向性は、家庭教育講座については、家庭教育支援員及び社会教育指導員により連携して行い、公民館講座や健康増進課との連携により3・5歳児健診時も講話を行い、家庭教育の機会の拡充を図りながら継続する。</p>					方向性	継続

点検評価調書		整理番号	15				
事業名	学校教育研究委員会			担当課係名	学校教育課 指導係		
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	地域を担う人づくり	施策	学校教育のレベル向上	施策の内容	学校教育の質的向上	
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら学び、心豊かに生きる人づくり	基本方針	② 生きる力の基盤となる「確かな学力」を育み、子どもたちの創造性を培い、自主及び自律の精神を養い、郷土「日本の宝島天草」を愛し国際社会に生きる心身ともに健康な日本人の育成			
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	市内幼稚園、小中学校の実態に応じた課題に対応するため、よりよい教育実践のための資料の作成や、いじめ不登校問題を中心とした生徒指導上の諸問題に対する共通理解と実践化を図るための会議を開催したりすることを通して、児童生徒の学力向上と、心豊かで充実した園・学校生活の確保を図る。						
内容	<p>「教育課程に関すること」、「いじめ不登校問題に関すること」、「小中一貫教育に関すること」の3つの課題に対して、それぞれ専門部を置き、調査・研究を進める。</p> <p><教育課程部会> 市内の幼稚園、小学校、中学校の園児や児童生徒の確かな学力や豊かな人間性を培うために、調査・研究を進め、市内の幼稚園・小・中学校に研究成果を提供する。本年度は、平成27年度から使用する小学校の各教科年間指導計画を作成。また、平成28年度から全小学校で実施する英会話科開設に向けての調査・研究を行う。</p> <p><いじめ不登校部会> 市内の小・中学校児童生徒の「いじめ問題」の解決を図るために、実践的に調査・研究を進め、その研究成果を市内全小中学校に提供する。その際、本部会において、いじめ・不登校対策会議を開き、PTA代表、適応指導教室指導員、教育指導アドバイザー、心の教室相談員から、いじめや不登校をなくすための意見や提言をいただいている。</p> <p><小中一貫教育研究部会> 小中一貫教育の基礎研究を行うとともに、天草市のめざすべき小中一貫教育の姿を研究する。</p>						
全体計画、概要 (平成26年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の 活動状況等	決算額	指標: 成果、活動の対象となるもの			評価		
	平成26年度(千円)	指標名	単位	平成26年度	上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
	975 (一般 975)	全国学力・学習状況調査 の全国平均正答率を上回 る項目数	項目数	全8項目			
			実績値	7項目			
	いじめ不登校部会開催回 数	回	4	4	4	4	
		実績値	4				
総合評価	<p>○上位施策への貢献 小学校用教科年間指導計画の作成やいじめ・不登校問題への提言等により、学力向上及び心豊かに生きる人づくりに貢献した。</p> <p>○市関与の必要性 天草の子供たちが、将来に夢や希望をもち、それを達成するために必要な「確かな学力」や「豊かな心」を身につけさせることは、学校の責務であり、市の関与は必要である。</p> <p>○達成状況 平成26年度は、平成27年度以降の小学校用教科年間指導計画を作成し、これを市内全小学校に配付し、学習指導の充実が図れた。英会話科についても、指導計画、指導要録等の作成、先導的な実践研究を行い、児童の学習意欲やコミュニケーション能力の向上が図れた。また、いじめ・不登校問題への提言を行うための会議を年間4回開催し、各小中学校に対して具体的な提言は行えた。更に、小中一環教育部会では、中1ギャップの解消や授業の相互乗り入れ等による学習指導の充実等により、学力向上に寄与できた。</p> <p>○今後の課題 不登校の児童・生徒(年間30日以上欠席)発生率が年々上昇傾向にあり、今年度も歯止めがかからなかった。教育委員会としてもいじめ・不登校部会からの提言内容をもとに、各学校への指導・助言の充実を図る必要がある。方向性については、調査・研究内容の充実を図りながら継続することとした。</p>					方向性	継続

点検評価調書		整理番号	16					
事業名	外国青年教師招致事業			担当課係名	学校教育課 教務2係			
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	地域を担う人づくり	施策	学校教育のレベル向上	施策の内容	国際化・情報化の推進		
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら 学び、心豊かに生きる 人づくり	基本方針	② 生きる力の基盤となる「確かな学力」を育み、子ども たちの創造性を培い、自主及び自律の精神を養い、郷 土「日本の宝島天草」を愛し国際社会に生きる心身とも に健康な日本人の育成				
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	<p>生きた外国語を市内小・中学生に学習させるため、外国語指導助手11人を市内小・中学校に巡回 方式で配置し、語学指導等を行い、国際交流・異文化交流を推進する。 小学校5・6年生において外国語活動が必修となっており、定期的に小学校への巡回も行い、生き た外国語に触れる良い機会となっている。</p>							
内容	<p>外国語指導助手11人を市内小・中学校に巡回方式で配置し担任教諭とのチーム・ティーチングに より語学指導等を行う。地域においては、社会教育、地域行事へのボランティア参加を促し国際交 流・異文化交流の推進を図っている。</p>							
・全体計画、概要 (平成26年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の 活動状況等	決算額	指標:成果、活動の対象となるもの			評価			
	平成26年度(千円)	指標名	単位	平成26年度		上位の施 策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
	51,433 (一般 51,433)	外国語指導助手人数	人	目標値	11			
				実績値	11			
			目標値			4	4	4
			実績値					
総合評価	<p>○上位施策への貢献 生きる力の基礎となる「確かな学力」の育成に貢献している。 ○市関与の必要性 学校教育において「生きた英語」を学ばせる機会を与えるため、関与する必要がある。 ○達成状況 外国語指導助手の担当校の見直しを行い、学校間及び外国語指導助手間にあつた授 業数の差の解消につながった。また、外国語指導助手向けの研修を実施し、共通の教材を 製作したり、情報を共有するなどして、外国語指導助手の学校現場における不安解消にも つながった。 ○今後の課題 学校だけでなく、学校の長期休業日を利用して他団体や地域への派遣、異文化体験イ ベントなど、地域での交流にも取り組んでいく必要がある。方向性については、招致事業の やり方を工夫して継続することとしたい。</p>					方向性	継続	

点検評価調書		整理番号	17					
事業名	学習指導補助教員設置事業			担当課係名	学校教育課 教務2係			
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	地域を担う人づくり	施策	学校教育のレベル向上	施策の内容	学校教育の質的向上		
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら 学び、心豊かに生きる 人づくり	基本方針	② 生きる力の基盤となる「確かな学力」を育み、子ども たちの創造性を培い、自主及び自律の精神を養い、郷 土「日本の宝島天草」を愛し国際社会に生きる心身とも に健康な日本人の育成				
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	小学校及び中学校においてチーム・ティーチング等きめ細やかな指導を行うことにより、児童・生徒の発達段階に応じた学校教育の実現を図るために、小・中学校の教員免許状または養護教諭の免許状を持つ者を補助教員として配置を行うものである。							
内容	<p>配置基準及び配置人員</p> <p>(1) 小学校1学年、2学年に31人以上の学級で特に配慮を要する学校 ・平成24年度 1校 4人 ・平成25年度 1校 4人 ・平成26年度 4校 7人</p> <p>(2) 発達障害等特に配慮を要する学校 ・平成24年度 25校 37人 ・平成25年度 26校 35人 ・平成26年度 22校 34人</p> <p>(3) 複式学級がある学校 ・平成24年度 2校 3人 ・平成25年度 4校 4人 ・平成26年度 3校 3人</p>							
・全体計画、概要 (平成26年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の 活動状況等	決算額	指標:成果、活動の対象となるもの			評価			
	平成26年度(千円)	指標名	単位	平成26年度		上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
	103,230 (一般 103,230)	学習指導補助教員の 配置数(年度末時点)	人	目標値	50			
				実績値	44			
			目標値			4	4	3
			実績値					
総合評価	<p>○上位施策への貢献 子供たちの学習能力の向上が図られ、地域を担う人づくりに貢献できた。</p> <p>○市関与の必要性 支援を必要とする子どもたちへの教育の更なる充実策として、市単独で配置しているため、その関与性は高い。</p> <p>○達成状況 予算要求した人員数は、学校の状況を把握し配置することができた。しかしながら、学校からの要望は非常に多く、要望人員をすべて配置することはできなかった。</p> <p>○今後の課題 予算面の問題もあり、真に配置が必要な学校の選定が重要である。また、学習指導補助教員の資質の向上並びに人員確保にも力を入れていく必要がある。</p> <p>更に今後は、身体的又は心の支援を必要とする子どもたちのために、教員免許取得者だけでなく社会福祉士等の資格を有する者の採用など、人員確保の観点からも採用資格要件を考慮していく必要がある。</p>					方向性	拡充	

点検評価調書		整理番号	18					
事業名	読書活動支援事業			担当課係名	学校教育課 教務2係			
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	地域を担う人づくり	施策	学校教育のレベル向上	施策の内容	学校教育の質的向上		
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら 学び、心豊かに生きる 人づくり	基本方針	② 生きる力の基盤となる「確かな学力」を育み、子ども たちの創造性を培い、自主及び自律の精神を養い、郷 土「日本の宝島天草」を愛し国際社会に生きる心身とも に健康な日本人の育成				
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	学校教育において、児童の豊かな感性を磨き、表現力を高め想像力を豊かにしたり、情報活用能 力を向上させたりするなど効果的な読書活動や多様な学習活動を推進するため、司書教諭及び学校 図書館に関する業務補助を専門とする学校司書の拠点配置を行う。これにより、全小・中学校を巡回 方式により業務を行い、学校図書館教育の充実を図る。							
内容	図書館業務の専門的知識を有する学校司書を天草市内小・中学校(35校)に、巡回配置の3校に1 人の割合で巡回配置する。 ただし、学校規模により本渡南小、本渡北小、亀川小、本渡中については、1名を専属で配置してい る。 平成26年度は、学校統廃合により前年度から学校数にして7校少なくなったので、2名減の18名を 配置した。							
・全体計画、概要 (平成26年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の 活動状況等	決算額	指標:成果、活動の対象となるもの			評価			
	平成26年度(千円)	指標名	単位	平成26年度		上位の施 策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
	33,519 (一般 33,519)	学校司書配置数	人	目標値	18			
				実績値	18			
			目標値			4	4	4
			実績値					
総合評価	<p>○上位施策への貢献 学校教育のレベル向上には、効果的な読書活動が大切である。</p> <p>○市関与の必要性 図書館担当教員は校務分掌上設けられているが、担任や教科指導等の業務があり、図 書室の整備充実まで至っていない。よって、専門的立場から、学校司書の配置による教育 効果は大きく、また市単独で実施しているため、市の関与性は高い。</p> <p>○達成状況 図書室の環境整備及び図書の整備を行うことにより、子供たちの本への関心が高まり、 目的は十分達成されている。</p> <p>○今後の課題 学校統合が進み、学校数が減少しているため、効果的な学校司書配置を検討する必要 がある。方向性については、研修会の開催を通じ、読書活動内容のさらなる充実を図りな がら継続することとしたい。</p>						方向性	継続

点検評価調書		整理番号	19																							
事業名	総合的な学習活動支援事業			担当課係名	学校教育課 教務1係																					
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	地域を担う人づくり	施策	学校教育のレベル向上	施策の内容	学校教育の質的向上																				
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら学び、心豊かに生きる人づくり	基本方針	② 生きる力の基盤となる「確かな学力」を育み、子どもたちの創造性を培い、自主及び自律の精神を養い、郷土「日本の宝島天草」を愛し国際社会に生きる心身ともに健康な日本人の育成																						
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	体験から興味関心を高めることにより学習意欲の向上を図ることを目的として、学習指導要領の中にある「総合的な学習の時間」において、横断的・総合的な課題などについて、自然体験や社会体験、観察・実験、見学・調査など体験的な学習に係る経費の支援を行なう。																									
内容	<p>市内全小・中学校35校に対し、総合的な学習活動に係る経費を負担する。 対象経費：交通費・保険料・講師謝礼・印刷費・消耗品費等 【経費内訳】</p> <table border="0"> <tr> <td>①報償費</td> <td>294,700円</td> <td>(小学校: 0円</td> <td>中学校: 294,700円)</td> </tr> <tr> <td>②旅費</td> <td>34,900円</td> <td>(小学校: 0円</td> <td>中学校: 34,900円)</td> </tr> <tr> <td>③需用費</td> <td>2,063,448円</td> <td>(小学校: 1,095,163円</td> <td>中学校: 968,285円)</td> </tr> <tr> <td>④役務費</td> <td>85,725円</td> <td>(小学校: 23,175円</td> <td>中学校: 62,550円)</td> </tr> <tr> <td>⑤使用料</td> <td>1,377,936円</td> <td>(小学校: 1,174,136円</td> <td>中学校: 203,800円)</td> </tr> </table>						①報償費	294,700円	(小学校: 0円	中学校: 294,700円)	②旅費	34,900円	(小学校: 0円	中学校: 34,900円)	③需用費	2,063,448円	(小学校: 1,095,163円	中学校: 968,285円)	④役務費	85,725円	(小学校: 23,175円	中学校: 62,550円)	⑤使用料	1,377,936円	(小学校: 1,174,136円	中学校: 203,800円)
①報償費	294,700円	(小学校: 0円	中学校: 294,700円)																							
②旅費	34,900円	(小学校: 0円	中学校: 34,900円)																							
③需用費	2,063,448円	(小学校: 1,095,163円	中学校: 968,285円)																							
④役務費	85,725円	(小学校: 23,175円	中学校: 62,550円)																							
⑤使用料	1,377,936円	(小学校: 1,174,136円	中学校: 203,800円)																							
・全体計画、概要 (平成26年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の活動状況等	決算額	指標：成果、活動の対象となるもの			評価																					
	平成26年度(千円)	指標名	単位	平成26年度	上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況																			
	3,857 (一般 3,857)	実施校	校	目標値				35																		
				実績値	35																					
			目標値		4	4	4																			
			実績値																							
総合評価	<p>○上位施策への貢献 自然体験や社会体験、観察・実験、見学・調査など体験的な学習を行うことにより、児童・生徒の学習意欲の向上に貢献する事業である。</p> <p>○市関与の必要性 市町村立学校の設置者として学習内容の充実を図り、児童生徒の学力向上のための施策を実施する義務がある。</p> <p>○達成状況 各校で自然体験や社会体験など様々な学習活動が実施されており事業目的を達成している。</p> <p>○今後の課題 各校で学習内容が異なるため予算を一律に配分することは困難であるが、予算を有効に活用し学習の成果に結びつく取り組みが必要である。方向性については、体験活動を通して学習意欲の向上が図られるよう、活動内容を工夫しながら継続することとしたい。</p>					方向性	継続																			

点検評価調書		整理番号	20					
事業名	ふるさと体験事業			担当課係名	学校教育課 教務1係			
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	地域を担う人づくり	施策	学校教育のレベル向上	施策の内容	学校教育の質的向上		
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら学び、心豊かに生きる人づくり	基本方針	② 生きる力の基盤となる「確かな学力」を育み、子どもたちの創造性を培い、自主及び自律の精神を養い、郷土「日本の宝島天草」を愛し国際社会に生きる心身ともに健康な日本人の育成				
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	<p>学習の場を校区から校区外へ広げ、児童が天草の伝統・文化・自然・歴史等とふれあい、理解を深めるなどの体験活動をとおして、ふるさとを多面的に捉え、宝島天草を愛し未来を切り拓く力を育成する。</p> <p>また、体験事業をとおして、自分で考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する力を育むなど、「生きる力」を育成する。</p>							
内容	<p>【対 象】 ・小学校3年生または4年生 ・H26年度から、統合校で実施する校区内の再発見事業は全児童対象</p> <p>【事業内容】 ・実施日数は1日以内 ・他教科等との関連を明確にし、事前(事後)学習活動を充実させることとする。 ・校区内では体験することができない天草の他地域における体験活動。 ・平成26年度実施校:22校</p> <p>【経費内訳】 ①需用費 22,000円 ②使用料及び賃借料 1,369,470円</p>							
・全体計画、概要 (平成26年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の活動状況等	決算額	指標:成果、活動の対象となるもの			評 価			
	平成26年度(千円)	指標名	単位	平成26年度		上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
	1,392 (一般 1,392)	実施校	校	目標値	22			
				実績値	22			
			目標値			4	4	4
			実績値					
総合評価	<p>○上位施策への貢献 児童が、様々な体験をとおして天草(地域)を知る重要な機会となっており、教育目標の達成のための貢献度は高い。</p> <p>○市関与の必要性 天草市立小学校の児童が天草の様々な場所を見学、体験するなどの学習を行うものであり、学校の設置者である市関与の必要性は高い。</p> <p>○達成状況 学校で学習した内容を実際にその場所で見学したり体験したりすることで理解が深まるなど、事業の目的を達成することができた。</p> <p>○今後の課題 本事業は平成26年度予算から「総合的な学習活動支援事業」と統合されており、これまでの実績を踏まえ、より効果的な事業の推進を図るための工夫を検討する必要がある。</p>						方向性	見直し て継続

点検評価調書		整理番号	21				
事業名	離島高校生修学費支援事業			担当課係名	教育総務課 総務企画係		
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	地域を担う人づくり	施策	学校教育レベルの向上	施策の内容	学校教育の質的向上	
教育目標 基本方針	教育目標	・夢や希望を持ち、自ら学び、心豊かに生きる人づくり ・自然や伝統・文化を大切にし、郷土「日本の宝島天草」を愛する人づくり	基本方針	② 生きる力の基盤となる「確かな学力」を育み、子どもたちの創造性を培い、自主及び自律の精神を養い、郷土「日本の宝島天草」を愛し国際社会に生きる心身ともに健康な日本人の育成			
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	<p>●目的 御所浦地区の中学校を卒業後、高等学校等に在学する生徒その他天草市御所浦町に住所を有し高等学校等に通学する生徒の保護者の経済的負担を軽減することを目的とする。</p> <p>●対象 ・御所浦町に住所を有し、高等学校等に自宅から通学している生徒の保護者 ・御所浦中学校又は御所浦北中学校を卒業後、高等学校等に通学するため高等学校等の寮若しくはアパートを利用し、又は下宿若しくは間借りしている生徒の保護者</p>						
内容	<p>御所浦地区から高等学校等へ進学する際の、交通費(船賃)及び下宿費等を助成する。</p> <p>●助成額(国費50%・一般財源50%)</p> <p>■通学費補助 御所浦町から天草市内の高校へ通学する際の交通費(船賃定期券代)の1/2を補助 ・補助対象生徒数 28人 ・事業費 2,172,000円</p> <p>■下宿等経費の補助 修学に伴い下宿等を行う場合に月額10,000円を補助(費用が10,000円未満の場合は実費分) ・補助対象生徒数 60人 ・事業費 7,169,687円</p> <p>■合計 ・補助対象生徒数 88人 ・事業費 9,341,687円</p>						
・全体計画、概要 (平成26年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の活動状況等	決算額	指標:成果、活動の対象となるもの			評価		
	平成26年度(千円)	指標名	単位	平成26年度	上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
	9,342 国庫(4,670) 一般(4,672)	補助対象生徒数	人	目標値			
				実績値	88		
			目標値		4	4	4
			実績値				
総合評価	<p>○上位施策への貢献 本市における教育の機会均等の観点から、高等学校等が設置されていない御所浦地区の高校生が、安心して勉学に打ち込める環境を整備することができた。</p> <p>○市関与の必要性 離島地区においては教育費負担が重くなっている状況であり、市が関与すべきである。</p> <p>○達成状況 補助対象者全員について、補助金の交付を行う事ができたため、事業の目的を達成することが出来た。</p> <p>○今後の課題 御所浦地域の振興については、御所浦架橋事業の長期化に伴う離島のハンディキャップを解消するために、いわゆる交通弱者に対する船賃の無料化が求められているが、高校生の通学費の1/2は保護者が負担しており、その経済的負担の軽減が課題である。</p>					方向性	拡充

点検評価調書		整理番号	22					
事業名	姉妹都市教育交流事業			担当課係名	教育総務課 総務企画係			
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	地域を担う人づくり	施策	学校教育レベルの向上	施策の内容 国際化・情報化の推進			
教育目標 基本方針	教育目標	・夢や希望を持ち、自ら学び、心豊かに生きる人づくり ・自然や伝統・文化を大切に、郷土「日本の宝島天草」を愛する人づくり	基本方針	② 生きる力の基盤となる「確かな学力」を育み、子どもたちの創造性を培い、自主及び自律の精神を養い、郷土「日本の宝島天草」を愛し国際社会に生きる心身ともに健康な日本人の育成				
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	<p>・本市の姉妹都市であるエンシニタス市(米国)と相互に生徒の派遣・受け入れを実施することにより、異なる文化や外国語を学び、市民生活や学校生活を体験しながら国際交流を深め、幅広い視野と国際感覚を身に付け、21世紀の郷土を担う心身ともに逞しい青少年の育成を図ることを目的とする。</p> <p>・活動・成果の指標は、下記項目についての実施の有無とする。 ①ホストファミリーとの交流、②小・中・高校生等との交流、③地域住民との交流</p>							
内容	<p>エンシニタス市から生徒3名・引率者1名を受け入れ、交流事業等を実施した。 ■実施時期 平成26年8月2日(土)～8日(金) (7日間) ■事業内容 ①教育交流事業(茶道・華道体験、イルカウォッチング、崎津集落見学他) ②五和中学校との交流学習事業(書道体験、空手体験、校内宝探しゲーム他) ③ホームステイ6日間(受け入れ家族との交流) 短期間ではあったが、教育交流事業・ホームステイ等をとおして、エンシニタス市訪問団の方々と国際交流を深めることができた。 また、今回は五和中学校において交流学習事業を行ったが、双方の生徒にとって国際理解を深める貴重な経験となった。</p>							
・全体計画、概要 (平成26年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の活動状況等	決算額	指標:成果、活動の対象となるもの			評価			
	平成26年度(千円)	指標名	単位	平成26年度		上位の施策(目標)への貢献	市関与の必要性	達成状況
	389 一般(389)	交流項目	項目	目標値	3			
				実績値	3			
			目標値			4	3	4
			実績値					
総合評価	<p>○上位施策への貢献 異文化体験や国際理解を深めることにより、相互間において大変意義のある事業となり、国際交流の推進を図る事ができた。</p> <p>○市関与の必要性 市民(天草市国際交流市民ボランティア等)と行政が一体となった国際交流活動を推進する必要がある。</p> <p>○達成状況 教育交流事業・五和中学校との交流学習事業・ホームステイ等をとおして、エンシニタス市訪問団の方々と国際交流を深めることができ、双方にとって刺激的・効果的な機会が生まれ、目的を十分に達成することができた。</p> <p>○今後の課題 多くの市民に参加・交流を促していくために、政策企画課とも連携して積極的に多文化共生の意識啓発を行っていく必要がある。</p>						方向性	見直して継続

点検評価調書		整理番号	23				
事業名	学校訪問指導の充実			担当課係名	学校教育課 指導係		
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	地域を担う人づくり	施策	学校教育のレベル向上	施策の内容	学校教育の質的向上	
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら 学び、心豊かに生きる 人づくり	基本方針	② 生きる力の基盤となる「確かな学力」を育み、子ども たちの創造性を培い、自主及び自律の精神を養い、郷 土「日本の宝島天草」を愛し国際社会に生きる心身とも に健康な日本人の育成			
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	天草市教育委員会の教育目標及び基本方針に基づき、学校教育の大きな課題である社会の変化 に対応できる人材の育成及び児童・生徒の個性の伸長を図り、あわせて本市教育水準の向上に資 するため、市内小・中学校の現状を把握するとともに、学校教育の一層の充実を図るため、全日総合 訪問、経営訪問、事務局訪問を行う。						
内容	[総合訪問]・・・小学校 7校、中学校 5校 合計12校 幼稚園 1園 [経営訪問]・・・小学校15校、中学校 7校 合計22校 幼稚園 3園 [事務局訪問]・小学校 0校、中学校 1校 合計 1校						
・全体計画、概要 (平成26年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の 活動状況等	決算額	指標:成果、活動の対象となるもの			評価		
	平成26年度(千円)	指標名	単位	平成26年度	上位の施 策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
		実施校数	校	目標値 35 実績値 35			
		実施園数	園	目標値 4 実績値 4	4	4	4
総合評価	<p>○上位施策への貢献 「確かな学力」「豊かな心の育成」を育むための各園、学校の取組に対して、園・学校現 場を訪問し、直接的に指導を行うことは、指導の充実を図るためには必要不可欠である。</p> <p>○市関与の必要性 本市の園児、児童生徒に対して、「確かな学力」「豊かな心」の育成を図ることは、本市の 責務である。</p> <p>○達成状況 学校訪問の形態は異なるが、全小・中学校及び4幼稚園を訪問し、それぞれの学校(園) において、課題解決に向けた確かな実践を確認することができた。特に、授業参観や分科 会指導では、学習態度の定着や確かな学力が育成されている様子を、児童生徒の生き生 きとした姿を通して、把握することができた。また、本年度は学習意欲を基盤とした授業づく りや目標、評価等4つの整合性などについて、重点的な指導ができた。</p> <p>○今後の課題 学力の学校・学級間格差、生徒指導上の諸問題等の解消に向けて、今後とも分科会や 全体会をさらに充実させ、訪問校の全校的な取組の充実や教師の授業力向上を目指し て、積極的に取り組んでいく必要がある。方向性については、時世に応じた課題を設定す るなど、やり方を工夫して継続することとしたい。</p>					方向性	継続

点検評価調書		整理番号	24					
事業名	市指定教育研究推進校補助金			担当課係名	学校教育課 指導係			
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	地域を担う人づくり	施策	学校教育のレベル向上	施策の内容	学校教育の質的向上		
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら 学び、心豊かに生きる 人づくり	基本方針	② 生きる力の基盤となる「確かな学力」を育み、子ども たちの創造性を培い、自主及び自律の精神を養い、郷 土「日本の宝島天草」を愛し国際社会に生きる心身とも に健康な日本人の育成				
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	学校教育の充実、教育向上に資するため、研究校を指定し天草市独自の事業を実施する。							
内容	<p>研究推進校を指定し独自の事業を実施 市指定校 5校(小学校3校、中学校2校)</p> <p>・学力充実研究推進校 : 本渡北小、本渡南小、牛深小、本渡中、本渡東中</p>							
・全体計画、概要 (平成26年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の 活動状況等	決算額	指標:成果、活動の対象となるもの			評価			
	平成26年度(千円)	指標名	単位	平成26年度		上位の施 策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
	965 (一般 965)	指定校数	校	目標値	5			
				実績値	5			
			目標値			4	4	4
			実績値					
総合評価	<p>○上位施策への貢献 児童生徒の生きる力の基盤となる「確かな学力」の育成に貢献している。</p> <p>○市関与の必要性 市全体の教育の質を維持向上のためには、積極的に研究に取り組み、研究の成果を市内の各学校に広げる必要があり、市が関与しなければならないと考える。</p> <p>○達成状況 児童・生徒の「確かな学力」の育成と教職員の教育指導力の向上は、本市にとって最重要課題である。指定希望も、例年多くの学校から上がっており、指定校の校内研修充実に加えて、天草市の教職員に対しても公開授業を実施し、各学校の教育的な課題の解決に役立っている。</p> <p>○今後の課題 今後さらに研究の成果を広げ、PDCAサイクルで検証しながら、各種会議、研修会、学校訪問指導等を中心として、天草市内のすべての学校に定着させていく必要がある。方向性については、指定校が偏らないよう配慮するなどやり方を工夫して継続することとした。</p>					方向性	継続	

点検評価調書		整理番号	25				
事業名	地産地消の推進			担当課係名	学校給食課		
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	地域を担う人づくり	施策	学校教育のレベル向上	施策の内容	学校教育の質的向上	
教育目標 基本方針	教育目標	・夢や希望を持ち、自ら学び、心豊かに生きる人づくり ・自然や伝統・文化を大切にし、郷土「日本の宝島天草」を愛する人づくり	基本方針	② 生きる力の基盤となる「確かな学力」を育み、子どもたちの創造性を培い、自主及び自律の精神を養い、郷土「日本の宝島天草」を愛し国際社会に生きる心身ともに健康な日本人の育成			
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	安心・安全でおいしい給食の提供に努めるとともに地産地消を推進する。						
内容	天草産・熊本県産の旬の野菜等生産物の購入により、感謝の心を育てたり、地域資源でもある農水産物に興味をもたせ、生産者等の顔の見える給食づくりを目指す。						
・全体計画、概要 (平成26年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の活動状況等	決算額	指標: 成果、活動の対象となるもの			評価		
	平成26年度(千円)	指標名	単位	平成26年度	上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
		熊本県産農林水産物 (品目の割合) 熊本県産 天草産	%	目標値 55.00 実績値 54.32 24.12			
		天草産農林水産物 (金額の割合)	%	目標値 15.00 実績値 15.86	4	4	4
総合評価	<p>○上位施策への貢献 地元農林水産物の消費拡大に寄与している。</p> <p>○市関与への必要性 地元農林水産物を使用した食育を通し、地元産への関心を高めることで郷土への思いを持たせると同時に農林水産物の生産性を高めるために関与の必要がある。</p> <p>○達成状況 栄養教諭や学校栄養職員と小売業者、生産者との連携を深めることにより目標を達成することができた。</p> <p>○今後の課題 天草産の活用については、数量・価格などの課題はあるが、地元JAや生産者及び農林・水産振興課との連携により、地元特産品の活用を図る必要がある。</p> <p>方向性については、献立の内容を充実して継続することとしたい。</p>					方向性	継続

点検評価調書		整理番号	26				
事業名	学校給食施設整備事業			担当課係名	学校給食課		
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	地域を担う人づくり	施策	学校教育のレベル向上	施策の内容 学校教育の質的向上		
教育目標 基本方針	教育目標	・夢や希望を持ち、自ら学び、心豊かに生きる人づくり ・自然や伝統・文化を大切にし、郷土「日本の宝島天草」を愛する人づくり	基本方針	② 生きる力の基盤となる「確かな学力」を育み、子どもたちの創造性を培い、自主及び自律の精神を養い、郷土「日本の宝島天草」を愛し国際社会に生きる心身ともに健康な日本人の育成			
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	天草市学校給食基本計画に基づき、児童生徒数の減少及び倉岳学校給食センターの老朽化及び衛生管理基準への適合化等の課題に対応するため、栖本学校給食センターを改修して倉岳学校給食センターを統合し、学校給食業務の効率化と衛生環境の向上を図る。						
内容	<p>栖本学校給食センターと倉岳学校給食センターを統合するため、統合による配食数増加への対応のための内部の改修及び増築工事</p> <p>整備事業期間 平成25年度～平成27年度 総事業費（設計監理委託含む） 109,988千円 平成25年度 2,258千円 平成26年度 32,291千円 平成27年度（債務負担行為） 75,439千円</p>						
・全体計画、概要 （平成26年度） ・実績、活動状況 ・補助対象団体の活動状況等	決算額	指標：成果、活動の対象となるもの			評価		
	平成26年度(千円)	指標名	単位	平成26年度	上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
	32,291 (一般 32,291)	対象事業数	事業	目標値			
				実績値	1		
			目標値		4	4	3
			実績値				
総合評価	<p>○上位施策への貢献 天草市学校給食基本計画に基き、学校給食業務の効率化を進めている。</p> <p>○市関与への必要性 施設の老朽化、及び衛生基準への適合化等の課題に対応するためには積極的かつ早急な関与の必要性がある。</p> <p>○達成状況 26年度に計画していた改修工事のうち、増築工事が市場要因による技術者、鳶工不足により、当初計画した出来高を達成することができなかった。</p> <p>○今後の課題 ・27年7月末には改修工事を完了し、2学期から予定通り栖本学校給食センターで給食ができるようにする。 ・天草市学校給食基本計画に基づき、老朽化が進んでいる他の給食センターについても順次計画を進める必要がある。 ・方向性については、計画の見直しもしながら継続することとしたい。</p>					方向性	継続

点検評価調書	整理番号	27
--------	------	----

事業名	小・中学校統合推進事業	担当課係名	教育総務課 施設係
-----	-------------	-------	-----------

第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	地域を担う人づくり	施策	学校教育のレベル向上	施策の内容	学校教育の質的向上
-------------------	------	-----------	----	------------	-------	-----------

教育目標 基本方針	教育目標	<ul style="list-style-type: none"> ・夢や希望を持ち、自ら学び、心豊かに生きる人づくり ・自然や伝統・文化を大切にし、郷土「日本の宝島天草」を愛する人づくり 	基本方針	② 生きる力の基盤となる「確かな学力」を育み、子どもたちの創造性を培い、自主及び自律の精神を養い、郷土「日本の宝島天草」を愛し国際社会に生きる心身ともに健康な日本人の育成		
--------------	------	---	------	---	--	--

目的 ・事業の目的 ・補助の目的	天草市学校規模適正化(学校統廃合)推進計画に基づき、複式学級の解消と学校規模の適正化により、活力ある児童・生徒の育成を目指す。 ○小学校 小学校42校(分校を含む)を17校にする。 ○中学校 中学校15校を13校にする。									
	○学校数の年度別推移 単位:校									
	年度	22	23	24	25	26	27	28	29	30
小学校	42	41	35	29	22	22	21	21	17	
中学校	15	15	13	13	13	13	13	13	13	

内容	1. 小学校 (1) 深海・久玉地区の学校統合協議会等を開催して、統合に向けての説明及び協議を行った。 ・深海・久玉地区学校統合協議会 1回 ・学校規模適正化(学校統廃合)推進計画に伴う深海地区説明会 ・深海小学校保護者説明会 (2) 平成26年4月に統合した、旧御領鬼池小学校仮設校舎解体を行った。 (3) 亀川小学校駐車場用地購入 390㎡ 2. 中学校 (1) 五和中学校建設関連家屋事後調査及び用地境界確定測量等 (2) 旧五和中学校仮設校舎の解体工事 3 総事業費 【小学校統合推進事業】 亀川小学校駐車場用地購入費16,000千円、旧御領鬼池小学校仮設校舎等使用料(解体費)3,297千円、収入印紙代17千円、郵便料1千円 計19,315千円 【中学校統合推進事業】 仮設校舎等使用料(解体費)16,320千円、境界確定測量委託料1,166千円、校舎建設等に伴う補償費1,522千円、用地取得費89千円 計19,097千円 事業費合計 38,412千円									

・全体計画、概要 (平成26年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の活動状況等	決算額	指標:成果、活動の対象となるもの					評価			
	平成26度(千円)	指標名	単位	平成26年度末 最終年度目標値		上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況		
	38,412 (一般 38,412)	小学校数	校	目標値	22					
			校	実績値	22					
		中学校数	校	目標値	17					
			校	実績値	13					
		校	目標値	13	4	4	4			

総合評価	○上位施策への貢献 学校を統合することにより、適正な学校規模となり、子どもたちがより良い教育環境の中で効果的な教育が受けられるようになった。 ○市関与の必要性 学校の設置及びより良い教育環境の整備は市の責務である。 ○達成状況 仮設校舎の解体工事等、計画どおり達成できた。 ○今後の課題 廃校跡地の利活用が課題である。						方向性	継続
------	--	--	--	--	--	--	-----	----

点検評価調書		整理番号	28				
事業名	成人式			担当課係名	生涯学習課 生涯学習推進係		
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	快適な生活環境づくり	施策	人と人が支え合うまちづくり	施策の内容	青少年の健全育成	
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら 学び、心豊かに生きる 人づくり	基本方針	② 生きる力の基盤となる「確かな学力」を育み、子ども たちの創造性を培い、自主及び自律の精神を養い、郷 土「日本の宝島天草」を愛し国際社会に生きる心身とも に健康な日本人の育成			
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	おとなになったことを自覚し、みずから生き抜こうとする青年を祝い励ますため「成人式」を実施する。明るい選挙を推進し、交通安全についても再考する機会となるよう式典に取り込む。久しぶりに再会する友人や恩師と旧交を温める良い機会にもなっている。						
内容	<p>○式典の実施 アトラクションとして各地区の郷土芸能披露や成人者自身が将来の夢等を発表している。</p> <p>○終了後記念撮影をして、天草市の記念品として贈呈している。</p> <p>○10地区で開催 8月16日 牛深 1月3日 本渡、有明、倉岳、栖本、天草、河浦 1月4日 御所浦、新和、五和</p> <p>○対象者数 975人 参加者数 836人(参加率 85.7%)</p>						
・全体計画、概要 (平成26年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の 活動状況等	決算額	指標:成果、活動の対象となるもの			評価		
	平成26年度(千円)	指標名	単位	平成26年度	上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
	1,107 (一般 1,107)	参加率	%	目標値			
				実績値	85.7		
	参加者数	人	目標値	829	4	4	4
			実績値	836			
総合評価	<p>○上位施策への貢献 郷土を愛する青少年の育成に寄与している。</p> <p>○市関与の必要性 国民の祝日に関する法律の趣旨「おとなになったことを自覚し、みずから生き抜こうとする青年を祝いほげます」によるもの。</p> <p>○達成状況 各地区出身者を中心に、多くの保護者や地域の来賓の臨席を得て、和やかな雰囲気の中で式典を開催しており、新成人の出席率も非常に高い。</p> <p>○今後の課題 今後新成人の数は著しく減少する見込みであり、出席率を保ちながら、新成人や保護者、地域にとって魅力ある成人式の在り方について検討する必要がある。新成人数の減少を見据え、対象者へのアンケート調査等を実施しながら、適切な開催の在り方の検討を行う。</p>					方向性	見直して継続

点検評価調書		整理番号	29					
事業名	コミュニティセンター整備事業			担当課係名	生涯学習課 生涯学習推進係			
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	地域を担う人づくり	施策	生涯学習・スポーツの推進	施策の内容	生涯学習施設等の整備		
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら 学び、心豊かに生きる 人づくり	基本方針	③ 市民一人一人が生涯を通じていつでも自由に学び、 文化・スポーツに親しむことを通じて生きがいを持ち、学 習や活動の成果を社会に生かすことができる生涯学習 社会の形成				
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	市民の憩いの場である社会教育施設(町民センター、ふれあいセンター、交流センター)を整備し、 地域交流、地域の健康福祉の向上及び生涯学習の振興を図る。							
内容	社会教育施設(町民センター、ふれあいセンター、交流センター)の整備。 ○コミュニティセンター整備事業 ・測量設計等委託料 1,297,188円 御所浦島開発総合センター高圧受電設備改修設計業務委託 ふかみふれあいセンター改修設計業務委託 天草町民センター改修工事監理業務委託 ・工事請負費 40,046,661円 御所浦島開発総合センター高圧受電設備改修工事 天草町民センター改修工事 ふかみふれあいセンター改修工事及び外構工事 ・有害生物駆除委託料 946,080円 地域交流センターおおくす白蟻駆除予防業務委託 ・修繕料 463,320円 新和町民センター自動ドア装置取替							
・全体計画、概要 (平成26年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の 活動状況等	決算額	指標:成果、活動の対象となるもの			評価			
	平成26年度(千円)	指標名	単位	平成26年度		上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
	42,754 (国庫補助金 8,687) (一般 34,069)	改修施設数 (耐震工事(1)を含む)	施設数	目標値	5			
				実績値	5			
			目標値			4	4	4
			実績値					
総合評価	○上位施策への貢献 施設を良好な状態に保つことで生涯学習活動の推進に寄与している。 ○市関与の必要性 市民が安全・快適に社会教育施設を利用できるように、市の責任において施設を維持管理する必要がある。 ○達成状況 社会教育施設の耐震工事はすべて終了した。また、施設を良好な状態に保つことで、市民が快適に使用できる環境づくりができた。 ○今後の課題 今後の方向性は、社会教育施設全体の老朽化が進んでいるため、「施設の整理・統廃合基本計画」と併せて計画的に改修を進めていく必要がある。また、施設の中に、地区コミュニティセンターと併設している施設においては社会教育施設の条例廃止などを行い、コミュニティセンターの管理形態を明確にするなど、やり方を工夫して事業を継続する。					方向性	継続	

点検評価調書		整理番号	30					
事業名	移動図書館事業			担当課係名	生涯学習課 中央図書館庶務係			
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	地域を担う人づくり	施策	生涯学習・スポーツの推進	施策の内容	生涯学習の推進		
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら学び、心豊かに生きる人づくり	基本方針	③ 市民一人一人が生涯を通じていつでも自由に学び、文化・スポーツに親しむことを通じて生きがいを持ち、学習や活動の成果を社会に生かすことができる生涯学習社会の形成				
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	<p>図書館から遠距離にある地域に居住する市民への利便性と利用者拡大の取り組みとして、移動図書館車で地域をまわり、読書振興につなげる。</p> <p>また、子ども読書推進計画を進めるために、小学校・幼稚園・児童館等へ図書を貸し出し、学校図書館に所蔵していない図書との出会いの場を提供する。</p>							
内容	<p>○移動図書館車3台で天草全域に実施している。</p> <p>①中央図書館から本渡・新和・有明・栖本・倉岳地区へ51力所実施(平成25年度購入)</p> <p>②河浦図書館から河浦・牛深・天草地区へ54力所実施(平成22年度経済対策で購入)</p> <p>③御所浦図書館から横浦島を含む御所浦全地域33力所実施(平成23年度天草町から移管)</p> <p>○合計訪問力所数138力所 利用冊数96,633冊 利用者数11,579人</p>							
・全体計画、概要 (平成26年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の活動状況等	指標:成果、活動の対象となるもの			評価				
	平成26年度(千円)	指標名	単位	平成26年度		上位の施策(目標)への貢献	市関与の必要性	達成状況
	1,552 (一般)	利用冊数 (対前年実績値比)	冊	目標値	83,969			
				実績値	96,633			
	利用者数 (対前年実績値比)	人	目標値	10,273		4	4	4
			実績値	11,579				
総合評価	<p>○上位施策への貢献 図書館から遠距離にある地域に居住する市民へも読書の機会を提供することで、生涯学習の推進に寄与している。</p> <p>○市関与の必要性 生涯学習推進の基盤である読書活動が積極的に行われるように支援する必要がある。</p> <p>○達成状況 移動図書館車で地域や学校等の各ステーションをまわり、目標とする図書の貸出数を上回ることができた。</p> <p>○今後の課題 図書館から遠距離にある地域に居住する市民への利便性と利用者拡大のため、生涯学習機会の提供として、読書に親しむ機会を設ける移動図書館事業での訪問箇所を増やすなど内容を充実して継続していく。</p>					方向性	継続	

点検評価調書		整理番号	31				
事業名	読書活動推進事業			担当課係名	生涯学習課 中央図書館庶務係		
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	地域を担う人づくり	施策	生涯学習・スポーツの推進	施策の内容	生涯学習の推進	
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら 学び、心豊かに生きる 人づくり	基本方針	③ 市民一人一人が生涯を通じていつでも自由に学び、 文化・スポーツに親しむことを通じて生きがいを持ち、学 習や活動の成果を社会に生かすことができる生涯学習 社会の形成			
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	広く市民に読書の楽しさを理解してもらい、読書の輪が家庭や地域に広がって行くことを目的とする。また、子どもの健やかな成長と心豊かな人間形成のために、子どもの読書活動を推進する。						
内容	<p>○童話発表大会：童話、民話などを児童が発表（発表時間は、1～2年生 1人 5分、3～6年生 1人 7分）する大会で、児童42人が出場し、天草地方大会には13人が出場した。</p> <p>○読書フェスティバル：絵本作家、川端誠氏による読み聞かせと講演会を開催し、230人の参加があった。</p> <p>○ボランティア交流会：読み聞かせボランティアの交流とスキルアップを目的に開催し、90人の参加があった。</p> <p>○古文書学習会：天草の古文書を教材に学習会を開催し、天草の歴史研究家の育成に努めている。年間61人の参加があった。（毎月第3土曜日開催）</p> <p>○巡回講座：年間計画に基づき各学校等への読み聞かせ活動により、本に親しむ機会を提供する。21回、1742人への読み聞かせを行った。</p>						
全体計画、概要 （平成26年度） ・実績、活動状況 ・補助対象団体の 活動状況等	決算額	指標：成果、活動の対象となるもの			評価		
	平成26年度(千円)	指標名	単位	平成26年度	上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
	515 (一般)	童話発表大会来場者数	人	目標値 200 実績値 200			
		読書フェスティバル来場者数	人	目標値 228 実績値 230	4	4	4
総合評価	<p>○上位施策への貢献 本に親しみ、創造する機会を与えることにより読書意欲の推進を図り、「生きる力」の基礎を育むことに寄与した。</p> <p>○市関与の必要性 読書活動が積極的に進められるように市民が本に触れる機会を多く提供する必要がある。</p> <p>○達成状況 読書フェスティバル、ボランティア交流会共に昨年を超える参加があつている。また、童話発表天草地方大会では天草市の2名が最優秀賞を受賞し、熊本県童話発表大会(11ブロックから23人出場)へ出場した天草地区代表が、最優秀賞を受賞した。</p> <p>○今後の課題 テレビやインターネット等の普及により子ども達の活字離れが進んでいるため、今後も家庭、地域、学校及び行政が連携して、読書活動を推進していく必要がある。</p>					方向性	継続

点検評価調書		整理番号	32				
事業名	生涯学習推進事業			担当課係名	生涯学習課 公民館係		
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	地域を担う人づくり	施策	生涯学習・スポーツの推進	施策の内容	生涯学習の推進	
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら 学び、心豊かに生きる 人づくり	基本方針	③ 市民一人一人が生涯を通じていつでも自由に学び、 文化・スポーツに親しむことを通じて生きがいを持ち、学 習や活動の成果を社会に生かすことができる生涯学習 社会の形成			
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	市民自らが主体的に学習する意欲を高め、豊かで充実した生活を送れるよう、市民を対象に学習 面に特化した事業を行い、各地域における教育の機会均等と内容の平準化を図る。						
内容	<p>平成25年度からの公民館再編に伴い、旧市町単位で実施する講演会・講座「全体講座」と地域単 位で実施する講座「出前講座」を開催する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「全体講座」：市民全体に学習の機会を提供する必要がある講座 具体的な学習例として人権学習、家庭教育講座等 ・「出前講座」：学習の機会を得にくい市民(高齢者等)を対象とした講座 具体的な学習例として健康講座、消費者生活講座等 <p>○平成26年度実績（講座開催数 参加者延人数） 全体講座50回 2,413人、出前講座242回 7,953人、計292回 10,366人</p>						
・全体計画、概要 (平成26年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の 活動状況等	決算額	指標:成果、活動の対象となるもの			評価		
	平成26年度(千円)	指標名	単位	平成26年度	上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
	1,867 (一般 1,867)	講座開催数	講座	目標値			
				実績値	292		
	参加者延人数	人	目標値	10,000	4	4	4
			実績値	10,366			
総合評価	<p>○上位施策への貢献 学習の場の提供は主体的な生涯学習活動への動機付けとなっている。</p> <p>○市関与の必要性 講座等の開催は市民の生涯を通じた学習につながるものであり、生涯学習社会の構築のために 市で取り組んでいくべきである。</p> <p>○達成状況 公民館再編前は、学習活動には全く取り組むことができていない地区でも、学習活動に特化した ことにより、各種講座を開催することができ、いろいろな内容の学習の機会を市民に提供すること ができた。</p> <p>○今後の課題 講座等の開設の仕方や形態については、地区振興会等の諸団体・諸機関との連絡、調整をはか り、共同事業を企画するなど新たな事業の展開が必要である。</p> <p>また、今後の方向性は、講座の選択にあたっては、今後も利用者アンケート等を参考に、地域住 民のニーズにあった講座を取り上げていく。若い世代やこども向けの講座など対象を絞った事業を 考案するなど、それぞれの公民館の地域性や実情に応じた魅力ある講座の開催を検討していくこ とで、より多くの参加者が得られるように内容を充実させながら継続する。</p>					方向性	継続

点検評価調書		整理番号	33				
事業名	勤労青少年ホーム教養講座			担当課係名	生涯学習課 生涯学習推進係		
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	快適な生活環境づくり	施策	人と人が支え合うまちづくり	施策の内容	青少年の健全育成	
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら学び、心豊かに生きる人づくり	基本方針	③ 市民一人一人が生涯を通じていつでも自由に学び、文化・スポーツに親しむことを通じて生きがいを持ち、学習や活動の成果を社会に生かすことができる生涯学習社会の形成			
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	<p>勤労青少年ホームは、勤労青少年に対して、各種の相談に応じ、及び必要な指導を行ない、並びにレクリエーション、クラブ活動その他勤労の余暇に行なわれる活動のための便宜を供与する等勤労青少年の福祉に関する事業を総合的に行なうことを目的とする施設である(勤労青少年福祉法第15条第2項)。</p> <p>これまでの勤労青少年の福祉的余暇活動の場としての「居場所」から、現代社会における若者のストレス発散悩み相談窓口、さらには職業的スキルアップを支援する場所へと展開していかなければならない状況にある。</p>						
内容	<p>○天草市勤労青少年ホーム 教養講座の開設 ①マナー講座 ②着物着付け講座 ③家庭料理講座 ④朝メン講座 ⑤アールユルヴェーダ講座 ⑥ダイエット講座 ⑦出張マナー講座 ⑧フラダンス講座 ⑨ヨガ講座 ⑩コア講座 ・受講生延べ395人</p> <p>○オープン講座 ・ホームの周知及び会員拡充のために、年齢に関係なくだれでも参加できるオープン講座を開催 ・8月29日 国際交流会館ポルト 参加者数130人 ・内容 倉岳町在住のミュージシャン ユカリシャスさんやホーム利用会員によるライブ、宇井野直子さんによるヨガ講座等</p> <p>○ホーム利用会員による自主活動 清掃ボランティア、天草市主催のトライアスロン大会・マラソン大会等にスタッフとしてのイベント協力、ミニバレーボール大会等を行った。</p>						
全体計画、概要 (平成26年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の活動状況等	決算額	指標:成果、活動の対象となるもの			評価		
	平成26年度(千円)	指標名	単位	平成26年度	上位の施策(目標)への貢献	市関与の必要性	達成状況
	245 (一般 245)	開設講座数	講座	目標値			
				実績値	12		
	受講生数	人	目標値	922	4	4	3
			実績値	525			
総合評価	<p>○上位施策への貢献 勤労青少年の育成や交流の場として寄与している。</p> <p>○市関与の必要性 勤労青少年福祉法により地方公共団体は、「勤労青少年ホームを設置するように努めなければならない」とあるため。</p> <p>○達成状況 勤労青少年のレクリエーション、クラブ活動その他勤労の余暇に行われる活動のための便宜を供与するというホームの目的を果たした。</p> <p>○今後の課題 講座の開催については、利用者の要望に答える形で実施するとともにチラシやホームページ等も活用し周知を図る必要がある。また、これまでの勤労青少年の福祉的余暇活動の場としての「居場所」に加えて、職業的スキルアップを支援し人材を育成する場所へと展開していかなければならない。</p>					方向性	見直して継続

点検評価調書		整理番号	34					
事業名	コミュニティ・スクールの推進に向けた取組み			担当課係名	学校教育課 指導係			
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	地域を担う人づくり	施策	学校教育のレベル向上	施策の内容	学校教育の質的向上		
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら 学び、心豊かに生きる 人づくり	基本方針	④ 学校・家庭・地域社会がそれぞれの責任を果たし、 連携を図ることができる、地域社会の特性を踏まえた教 育行政の推進				
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	保護者や地域住民等が一定の権限と責任を持って学校運営に参画することを通じて、地域に開かれた信頼される学校づくりを進める。							
内容	本町小学校及び五和小・中学校に学校運営協議会を設置し、各支援コミュニティの組織づくりと効果的な運用、コミュニティ・スクールへの理解を高めるための啓発活動に取り組む。							
・全体計画、概要 (平成26年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の 活動状況等	指標:成果、活動の対象となるもの			評価				
	平成26年度(千円)	指標名	単位	平成26年度		上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
	354 (一般 354)	設置校数	校	目標値	3			
				実績値	3			
			目標値			4	4	4
			実績値					
総合評価	<p>○上位政策への貢献 学校、家庭、地域社会がそれぞれの責任を果たし、連携を図ることができる教育行政の推進に貢献している。</p> <p>○市関与の必要性 地域に根ざした開かれた学校づくりに寄与する事業であり、地域社会の特性を踏まえた教育行政の推進において市が関与する必要性がある。</p> <p>○達成状況 平成26年度は、本町小学校、五和小・中学校の3校において実施し、地域の教育力を生かした特色ある教育活動が行われた。</p> <p>○今後の課題 地域に開かれた信頼される学校づくりの一層の推進に向け、これまでの取組の成果を踏まえて、熊本版コミュニティスクールの全校実施に向けた取組みの推進を図る必要がある。</p>					方向性	見直して継続	

点検評価調書		整理番号	35				
事業名	学校の自己評価			担当課係名	学校教育課 指導係		
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	地域を担う人づくり	施策	学校教育のレベル向上	施策の内容	学校教育の質的向上	
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら 学び、心豊かに生きる 人づくり	基本方針	④ 学校・家庭・地域社会がそれぞれの責任を果たし、 連携を図ることができる、地域社会の特性を踏まえた教育 行政の推進			
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	<p>学校が、その教育活動その他の学校運営の状況について評価を行い、その結果に基づき学校運営の改善を図ること、及び評価結果等を広く保護者等に公表していくことにより、児童生徒がより良い教育活動等を楽しめるよう学校運営の改善と発展を目指す取組を指導し、援助を行う。</p>						
内容	<p>・学校の自己評価等について市教委への報告様式を原則統一 ①学校経営目標等 ②具体的計画 ③今年度の達成基準 ④自己評価(中間) ⑤自己評価(最終) ⑥分析・改善方策 ⑦学校関係者評価 評価は3段階(A:目標を十分達成した B:おおむね目標どおり C:目標達成が不十分)</p> <p>・学校評価に関する情報提供</p> <p>・学校の事務負担を増加させずに、効果的な学校評価が実施できるよう、評価手法等の調査や優れた取組の普及</p>						
・全体計画、概要 (平成26年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の 活動状況等	決算額	指標:成果、活動の対象となるもの			評価		
	平成26年度(千円)	指標名	単位	平成26年度	上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
		実施校数	校	目標値			
				実績値	35		
	実施園数	園	目標値	4	4	4	4
			実績値	4			
総合評価	<p>○上位施策への貢献 学校が自校の学校運営について適切に自己評価を行い、保護者地域住民に周知することは、学校改革を進め、児童生徒にとってよりよい教育環境を提供するための基盤となるものであり、教育行政の推進に寄与している。</p> <p>○市関与の必要性 学校教育に対する保護者や地域の期待は高く、それに応えるべく適切な学校評価に基づき本市の学校教育をより充実させることは本市の責務であり、市が関与する必要がある。</p> <p>○達成状況 各学校において、学校評価の意義や役割、教育にもたらす効果等について、共通理解が図られ、改善を図る手立てがとられている。特に、自己評価等について市教委への報告様式を統一したことで、市教育委員会としてより客観的に取組みの様子について把握することができた。</p> <p>○今後の課題 学校関係者評価の公表や設置者への報告など、在り方について検討する必要がある。方向性については、自己評価の内容や自己評価を踏まえた改善が促進されるよう工夫しながら継続することとしたい。</p>					方向性	継続

点検評価調書		整理番号	36				
事業名	社会を明るくする運動・教育力活性化推進大会			担当課係名	生涯学習課 生涯学習推進係		
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	地域を担う人づくり	施策	生涯学習・スポーツの推進	施策の内容	生涯学習の推進	
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら学び、心豊かに生きる人づくり	基本方針	④ 学校・家庭・地域社会がそれぞれの責任を果たし、連携を図ることができる、地域社会の特性を踏まえた教育行政の推進			
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	<p>社会を明るくする運動は、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動であり、本市においては、青少年の非行防止という観点から、青少年の健全育成の活動に関することとして捉え、実施している。</p> <p>社会を明るくする運動と併せて、天草市の教育の現状について理解を深めるとともに、これからの教育のあり方や方向性を見定める機会とし、学校教育や社会教育をはじめとするすべての分野の教育力の活性化を推進することを目的に推進大会を開催する。</p>						
内容	<p>○ポスター、横断幕、のぼり旗等の掲示や設置による広報活動やチラシ、啓発用品の配布による街頭啓発活動の実施。</p> <p>○社会を明るくする運動推進委員会の開催</p> <p>○高校生や一般市民からの標語及び小中学校児童生徒の作文を募集し、推進大会で表彰や作文の発表</p> <p>○社会を明るくする運動・教育力活性化推進大会の開催</p> <p>○主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天草高等学校生徒による司会進行 ・オープニング新和中学校器楽部 ・事例発表 倉岳地区公民館、亀川小学校 ・記念講演 講師 佐久間 レイさん(声優・歌手・劇作家) 演題「みんな笑顔の講演会～命を輝かせる心のストレッチ～」 						
・全体計画、概要 (平成26年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の活動状況等	決算額	指標:成果、活動の対象となるもの			評価		
	平成26年度(千円)	指標名	単位	平成26年度	上位の施策(目標)への貢献	市関与の必要性	達成状況
	社会を明るくする運動・教育力活性化推進大会	社会を明るくする運動 標語・作文応募数	件	目標値 1,000 実績値 1,091			
		914 (一般 914)	社会を明るくする運動・教育力活性化推進大会への参加者数	人	目標値 630 実績値 450	4	4
総合評価	<p>○上位施策への貢献 学校・家庭・地域社会で連携し、教育力推進の意識高揚を図ることができた。</p> <p>○市関与の必要性 社会を明るくする運動は法務省主唱の全国的な運動であり、市としても青少年健全育成のために関与する必要がある。また、教育力活性化推進大会についても、教育力推進のために関与する必要がある。</p> <p>○達成状況 社会を明るくする運動については作文や標語の募集を行い、保護司会と連携して啓発活動に取り組むことができた。また、教育力活性化推進大会は、参加した市民や教育関係者が、それぞれの活動の以後の参考となり、また教育意欲の向上につながり、教育力を高める契機に繋がるような内容を企画した。</p> <p>○今後の課題 今後の方向性は、事業の目的は達成しているが、参加した市民や教育関係者が、今後の活動の参考になるような内容を企画していきながら継続する。</p>					方向性	継続

点検評価調書	整理番号	37
--------	------	----

事業名	放課後子ども教室			担当課係名	生涯学習課 生涯学習推進係		
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	地域を担う人づくり	施策	学校教育のレベル向上	施策の内容	開かれた学校づくりの推進	
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら 学び、心豊かに生きる 人づくり	基本方針	④ 学校・家庭・地域社会がそれぞれの責任を果たし、 連携を図ることができる、地域社会の特性を踏まえた教 育行政の推進			
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	放課後や週末等に学校の余裕教室等を活用して、子どもたちの安全・安心な活動拠点(居場所)を 設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちに学習や様々な体験・交流活動の機会を定期的・継続 的に提供する取組を通じて、子どもたちの社会性・自主性・創造性等の豊かな人間性を涵養するとと もに、地域社会全体の教育力の向上を図り、地域の活性化や子どもが安心して暮らせる環境づくりを 推進することを目的とする。						
内容	地域のコーディネーターが中心となって住民と学校が連携して、放課後等の子どもたちの 居場所を確保するとともに遊びや学習機会を提供する。						
		児童登録者数	実施日数	延べ参加者数	コーディネーター等数		
	本渡東小学校	19人	51日	824人	10人		
	島子小学校	15人	188日	967人	7人		
	合計	34人	239日	1,791人	17人		
・全体計画、概要 (平成26年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の 活動状況等	決算額	指標:成果、活動の対象となるもの			評価		
	平成26年度(千円)	指標名	単位	平成26年度	上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
	784	実施校数	校	目標値			
			実績値	2			
(県支出金 445) (一般 339)	参加者数	人	目標値	1,218	4	4	3
実績値	1,791						
総合評価	<p>○上位施策への貢献 学校・家庭・地域社会で連携を図り、子どもの居場所をつくることができた。</p> <p>○市関与の必要性 社会の変化に伴い、家庭教育力・地域教育力の低下が懸念されるため、学習機会の提 供等の支援を行っていく必要がある。</p> <p>○達成状況 新規で1校開設する予定であったが、開設準備時に放課後児童クラブ事業者との調整が 難航し、新設することができなかった。</p> <p>○今後の課題 国の次世代育成支援対策推進法(平成26年4月23日施行)改正により、放課後子ども総 合プランが策定された。これにより、放課後児童クラブにおいては、箇所数の増加や対象 年齢の引き上げ等、さまざまな拡充が図られた。</p> <p>そのため、現在実施している放課後子ども教室については継続して行うこととするが、全 体的な方針としては放課後児童クラブの配置状況等の進捗状況をみながら検討していく。</p>					方向性	見直し て継続

点検評価調書	整理番号	38
--------	------	----

事業名	青少年健全育成事業			担当課係名	生涯学習課 生涯学習推進係		
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	快適な生活環境づくり	施策	人と人が支え合うまちづくり	施策の内容	青少年の健全育成	
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら学び、心豊かに生きる人づくり	基本方針	④ 学校・家庭・地域社会がそれぞれの責任を果たし、連携を図ることができる、地域社会の特性を踏まえた教育行政の推進			
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	<p>青少年同士の交流を促し、自然とのふれあいなどの豊かな体験の場を創出すると共に、ボランティア等の社会参加型活動への参加を支援する。</p> <p>地域の伝統的事業を体験して歴史を学ぶことで、ふるさとの魅力を再発見し、郷土を愛する心を醸成できる。また、地元の青年団やお年寄りと異世代交流を行うことにより社会性や自立性が身につく等の大きな成果がある。</p>						
内容	○青少年の交流や自然体験事業を実施						
	事業名		内容			参加者数	
	とんとこ漁体験(御所浦地域)		島の特性を活かした伝統の漁法等を通じた中学生の体験学習事業を実施し、自然の恵みに感謝する。			29	
	化石セミナー(御所浦地域)		御所浦白亜紀資料館展示物や野外見学地(ジオサイト)に訪れて現地学習することで、化石について学び地域への愛着を深める。			41	
	○青少年育成補助事業 青少年の各種体験事業、青少年の他地域との交流事業等に対する補助(20万円以上の事業に対し1/2補助、限度額20万円)						
	事業名		主催			参加者数	
	御所浦町・産山村海山交流活動		御所浦町・産山村海山交流活動実行委員会			44	
	豊田市矢並小学校と本町小学校交流事業		本町小学校PTA			31	
	福岡～大阪への職業等体験事業 ゆめみらい塾		(一社)天草本渡青年会議所			30	
	あまくさ自然学校体験事業		竜洞山みどりの村運営協議会			131	
	もぐし地区と高森町の子どもの体験交流事業		(福)共愛会 もぐし保育園			33	
	福島県と天草地区の子どもの交流事業		天草下組若手僧侶会			68	
全体計画、概要 (平成26年度) 実績、活動状況 補助対象団体の 活動状況等	決算額	指標:成果、活動の対象となるもの			評価		
	平成26年度(千円)	指標名	単位	平成26年度	上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
	1,117 (一般 1,117)	青少年健全育成 補助金申請団体	団体	目標値 5 実績値 6			
		参加者数	人	目標値 320 実績値 407	4	4	4
総合評価	<p>○上位施策への貢献 青少年の健全育成に大きく寄与している。</p> <p>○市関与の必要性 青少年の健やかな成長を支えることは社会全体の責任であり、行政、家庭、地域、学校等が相互に協力・補完しながら取り組むことが必要である。 青少年健全育成のために、人的・財政的支援を行っていく必要がある。</p> <p>○達成状況 地域の伝統的事業の体験や歴史学習によりふるさとのよさを再発見することで、ふるさとを愛する子どもたちの育成につながった。また、職業体験、自然体験活動や他地域の子どもの異年齢交流を行うことにより、様々な体験が深まることで感謝の気持ちを持つ大切さや思いやりの心を持つなど、青少年の健全育成に大きな成果があった。</p> <p>○今後の課題 今後の方向性については、現在の青少年育成補助(金)事業は、活用団体が限られているので、市民や団体における青少年育成活動をさらに活性化させるように、補助要綱等の変更を含めて青少年育成補助事業の内容を再検討して継続する。</p>					方向性	継続